ユーザーマニュアル

020-000777-02

H シリーズ

D12HD-H/D12WU-H

CHRISTIE®

The CD included with this printed manual contains an electronic copy in English. Please read all instructions before using or servicing this product.

手册中包含的光盘，带有着中文的电子副本，使用或维修本产品前，请仔细查阅所有的指示。

Le DC fourni avec ce manuel imprimé contient une copie électronique en français. S'il vous plaît lire toutes les instructions avant d'utiliser ou de réparer ce produit.

Die mit dieser gedruckten Anleitung gelieferte CD enthält eine elektronische Kopie in Deutsch. Bitte lesen Sie alle Anweisungen, bevor Sie dieses Produkt verwenden oder warten.

Il CD fornito con il manuale stampato contiene una copia elettronica in lingua italiano. Si prega di leggere tutte le istruzioni prima di utilizzare o riparare questo prodotto.

この印刷されたマニュアルに同梱されております CD には、日本語での説明書が入っております。この製品を使用あるいは修理点検される際に、ご参照下さい。

매뉴얼과 함께 포함되어 있는 CD 에는 한글로 된 전자사본을 포함하고 있습니다 . 본 제품을 사용 혹은 서비스하기 전에 모든 지침 사항들을 읽어 보시기 바랍니다 .

Поставляемый в комплекте с документацией компакт-диск (CD) содержит электронную копию руководства пользователя на русском языке. Перед началом использования изделия или проведения сервиса пожалуйста прочтите все инструкции изложенные в руководстве.

El DC incluido con este manual impreso contiene una copia electrónica en español. Por favor, lea todas las instrucciones antes de usar o dar servicio a este producto.

ご注意

著作権と商標

Copyright ©2015 Christie Digital Systems USA, Inc. 版権所有。

すべてのブランド名および製品名は、それぞれの所有者に帰属する商標、登録商標、または商標名です。

規定

本製品は、FCC 基準パート 15 に準ずるクラス A のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限事項は、本製品を商業的環境で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。本製品は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。本製品を住宅地域で使用すると、電波障害を引き起こすことがあり、その場合、使用者が自己の費用負担によって障害を解消する必要があります。
警告 Christie からの明確な許可を受けることなく、本体に承認されていない変更や改造が行われた場合には、本製品を使用する権利が規定される場合があります。

商業目的のみの利用 - POUR USAGE COMMERCIAL UNIQUEMENT

本製品は FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に規制されます :(1) 電波障害を起こさないこと、(2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

このクラス A デジタル機器は、カナダ障害原因装置規正のすべての要件を満たしています。

CET APPAREIL NUMÉRIQUE DE CLASSE A EST CONFORME AUX NORMES DÉFINIES DANS LES RÉGLEMENTATIONS CANADIENNES SUR LES APPAREILS CAUSANT DES INTERFÉRENCES RADIO (CANADIAN INTERFERENCE-CAUSING EQUIPMENT REGULATIONS, ICES-003, CLASS A).

声明　　此为 A 级产品，在生活环境中，该产品可能会造成无线干扰。在这种请况下，可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施。

이 기기는 업무용 (A 급) 으로 전자파적합등록을 한 기기이오니 판매자 또는 사용자는 이점을 주의하시기 바라며 , 가정 외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다 .

一般注意事項

本書はできる限り正確な情報を記載していますが、製品または製品の利用に関する変更が生じた場合、本書に反映されない場合があります。Christie は本書に記載された仕様に対し、事前の通知なく変更を加える権限を有します。パフォーマンス仕様は典型的なものを記載していますが本製品を不適切にメンテナンスするなど、Christie の責任が及ばない部分で性能に影響をきたす可能性があります。パフォーマンス仕様は本書印刷時の情報に基づいています。Christie は暗示的保証や特定の用途における適合性などを含め、本書に関する一切の保証を致しかねます。また、Christie は本書の性能や使用から派生した、偶発的または結果的損害を含む一切のダメージに対し責任を負いかねます。

本製品は高品質素材および部品により設計・製造されており、これらの素材や部品はリサイクルや再利用が可能です。このような記号 は、電子または電気装置が寿命に達した時、一般ごみとは別に破棄すべきであることを意味しています。本製品はお住まいの地域の規定に従って、適切に破棄してください。ヨーロッパ連盟諸国では、電子および電気製品に対し異なる回収システムが設定されています。私たちの暮らす環境を守るため、ご協力をお願いいたします。

カナダの製造施設は ISO 9001 および 14001 認証を受けています。

一般的な保証

Christie の有限保証に関する詳細は、Christie の代理店にお問い合わせください。Christie の有限保証で示すその他の制限に加え、次のような場合は保証対象外とさせていただきます。

a. 運送中（弊社から、またはお客様からの発送を含む）に発生した破損。
b. 本製品を Christie 製以外の装置と併用した場合に生じるトラブル。分配システム、カメラ、ビデオテープレコーダなど、または Christie 製以外のインターフェースを持つ製品との併用を含みます。
c. 誤用、不適切な電源の使用、事故、火災、洪水、落雷、地震、その他の自然災害により生じた破損。
d. 不適切なインストールや配置、または製品の修正（Christie が認可する修理サービス以外を利用した場合）により生じた破損。
e. LCD プロジェクターに関しては、指定の保証期間は LCD プロジェクターが「正常に使用」されていた場合にのみ適用されます。「正常な使用」とは、LCD プロジェクターを 1 日 8 時間以内、1 週間に 5 回までの範囲で使用することを指します。「正常な使用」の範囲を超えた LCD に関しては、6000 時間の使用以降、本保証の対象外となりますのでご注意ください。
f. 正常な消耗や摩耗による破損。
g. プロジェクターランプ（Christie のランププログラムポリシーをご覧ください）。
h. 推奨されるランプの寿命を超えてもプロジェクターランプを使い続けた場合、または Christie 以外のメーカーのランプをお使いの場合。

予防手段としてのメンテナンス

お買い上げいただいた製品を継続的に、正しくお使いになるために重要なのは、故障の予防手段として適宜メンテナンスを行うことです。製品に関するメンテナンス方法については、メンテナンスのセクションをお読みください。必要なメンテナンスを怠ったり、Christie の指定するスケジュールに基づいたメンテナンスが行われない場合、保証は無効となります。

目次

1. 安全にお使いいただくために
2. はじめに
   - 2.1 プロジェクターのコンポーネント 2-1
   - 2.2 内蔵キーパッド 2-4
   - 2.3 入力 / 出力 (I/O) パネル 2-5
   - 2.4 リモコン 2-6
   - 2.5 LED ステータスインジケータ 2-8
3. 本体の設置
   - 3.1 コンピュータとの接続 3-1
   - 3.2 ビデオ装置との接続 3-2
   - 3.3 プロジェクターの電源投入 3-3
   - 3.4 プロジェクターをオフにする 3-3
   - 3.5 プロジェクターの位置を調整する 3-4
   - 3.6 レンズオフセットの計算 3-6
   - 3.7 レンズの取り外しと取り付け 3-10
   - 3.8 ヒューズの取り付け 3-11
   - 3.9 フィルタの交換 3-12
   - 3.10 天井への取り付け 3-12
4. 操作
   - 4.1 サイズと位置のメニュー 4-2
   - 4.2 画像設定メニュー 4-6
   - 4.3 構成メニュー 4-9
   - 4.4 ランプ 4-14
   - 4.5 ステータスメニュー 4-16
   - 4.6 入力切り替えと PIP メニュー 4-18
   - 4.7 言語メニュー 4-20
   - 4.8 テストパターンメニュー 4-20
   - 4.9 Web ユーザーインターフェース 4-21
     - 4.9.1 ログオン 4-21
     - 4.9.2 メインのタブ付きページ - 全般 4-21
     - 4.9.3 メインのタブ付きページ - ステータス 4-22
     - 4.9.4 メインのタブ付きページ - レンズ 4-22
     - 4.9.5 ネットワーク設定 4-23
     - 4.9.6 ツール 4-26
     - 4.9.7 管理者ページ 4-26
     - 4.9.8 バージョン情報ページ 4-27
   - 4.10 Christie Presenter 4-28
     - 4.10.1 プロジェクターに接続する 4-28
     - 4.10.2 Christie Presenter ソフトウェアのインストール 4-29
     - 4.10.3 Christie Presenter の使用 4-30
   - 4.11 カードリーダーの操作 4-36
5. 故障かなと思ったら
6. 仕様
   - 6.1 入力 6-1
   - 6.2 PIP/POP 互換性 6-7

6.3 主な機能 6-8
6.4 パッケージ内容 6-8
6.5 オプションのアクセサリ 6-9
6.6 規定 6-9
6.7 米連邦通信委員会 (FCC) 警告 6-10
6.8 OSD ツリー 6-11

1. 安全にお使いいただくために

本書をよくお読みになり、プロジェクターを操作する前に、すべての警告事項および注意事項をしっかりと把握しておいてください。

⚠ 警告

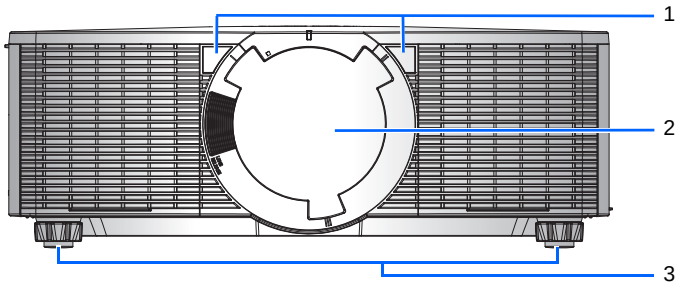
- ランプ点灯中は、プロジェクターレンズをのぞかないでください。強力な光線により、視力障害が引き起こされる恐れがあります。
- 火災や感電の原因となるため、本プロジェクターを雨や湿気にさらさないようにしてください。
- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電する恐れがあります。
- すべてのインストールおよびメンテナンス操作は、Christie の認可を受けたサービス技師が行う必要があります。
- すべての可燃性素材はプロジェクターの光線から遠ざけてください。
- すべてのケーブルは、上に物を置いたり、引っかけたりしない場所に設置してください。
- プロジェクターの手入や清掃をする場合は、必ず電源を切り、すべての電源から取り外してください。
- ディスプレー筐体は、中性洗剤で軽く湿らせた柔らかい布で拭いてください。
- 本製品を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- プロジェクターを次のような環境でご利用ください。
  - 動作温度範囲 :0°C ～ 40°C
  - 保管温度範囲 :-10°C ～ 60°C
  - 湿度範囲 :10% ～ 85 % RH (最大) 結露なし
  - 動作海抜 : 最大 3,000 m
- 同梱の AC 電源コードのみをお使いください。AC 電源やコードがお住まいの地域で指定された電圧や出力範囲でない場合は、お使いにならないでください。
- レンズを取り付ける前に、レンズ取り付け部からレンズプラグを外します。光学部品をホコリやごみから守るため、レンズプラグをかぶせておいてください。
- プロジェクターの通風用スロットや開口部を塞がないでください。
- 本体を研磨材入りクリーナー、ワックス、溶剤などでお手入れしないでください。
- 電源コードの上に物を置かないようにご注意ください。

2. はじめに

本書で示す製品は、非常に明るく、高解像度のビデオ / グラフィック 1 チップランプを搭載したプロジェクターです。プロジェクターは HD および WUXGA 解像度でご利用いただけます。また、このプロジェクターはテキサス・インスツルメンツ社の DLP®（デジタル・ライト・プロセッシング）技術を駆使しています。この技術は、主に固定据付製品の市場で使われています。

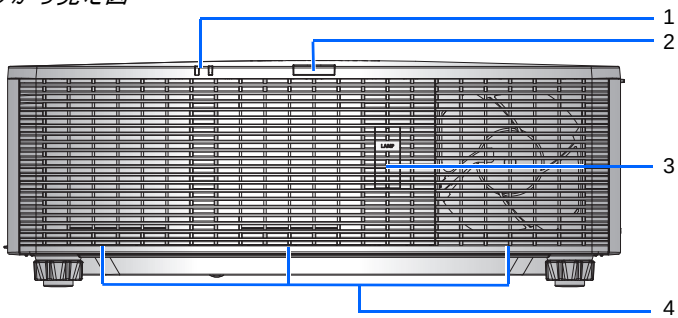
2.1 プロジェクターのコンポーネント

前から見た図



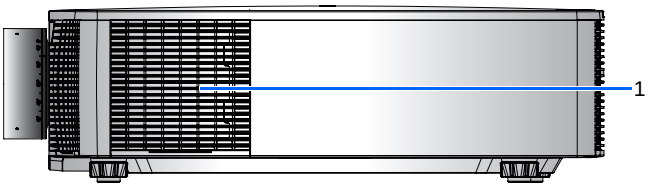
番号	名称	説明
1	正面 IR センサー	IR リモートから信号を受信します。プロジェクターとの通信を遮断しないようにセンサーへの信号経路を遮らないようにしてください。
2	プロジェクションレンズ	レンズコントロールと調整を自動で行います : 上下左右の補正、ズーム、フォーカス調整などを行うことができます。
3	調整可能な脚	フットを上げ下げしてプロジェクターを水平にします。

後ろから見た図

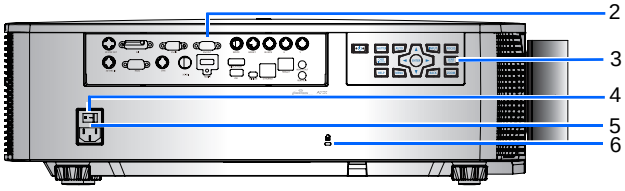


番号	名称	説明
1	LED ステータスインジケータ	プロジェクターのステータスを表示します。各 LED は左から右へ、ランプ 1、ランプ 2。
2	背面 IR センサー	IR リモートから信号を受信します。プロジェクターとの通信を遮らないように信号パスを遮らないようにしてください。
3	ランプドア	ランプドアを使用してランプモジュールにアクセスします。
4	通風口の冷却 (排気)	プロジェクターが過熱する原因となるため、これらの通風口を塞がないようにしてください。

左から見た図

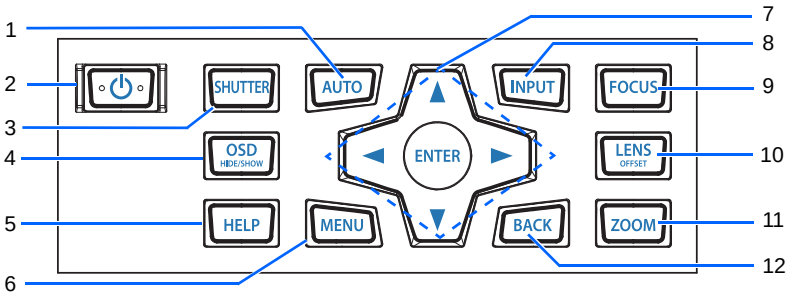


右から見た図



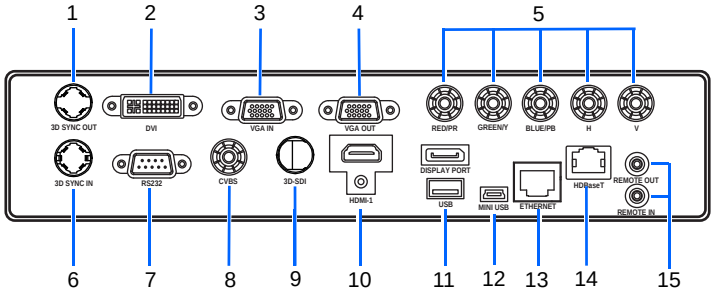
番号	名称	説明
1	通風口の冷却 (吸気)	プロジェクターが過熱する原因となるため、これらの通風口を塞がないようにしてください。
2	入力 / 出力 (I/O) パネル	プロジェクターを外部デバイスに接続します。
3	内蔵キーパッド	プロジェクターを調整します。
4	電源ボタン	電源ボタンのスイッチを入れて電源をオンにします。
5	AC 入力	付属の電源アダプタに接続します。
6	ケンジントンロック	プロジェクターをカウンター、テーブル等に固定するために使用します。

2.2 内蔵キーパッド



番号	名称	説明
1	自動	画像を自動的に最適化します。
2	電源	プロジェクターのオン / オフを切り換えます。
3	シャッター	ビデオ画像を表示または空白にします。
4	OSD	OSD メニューを表示したり、隠したりします。
5	Help	ソース接続に対する手順を表示します。
6	Menu	メニューを表示します。
7	矢印キー	• 上または下の設定を調整します • メニュー内を移動します
8	入力	メインまたは PIP/PBP 画像を選択します。
9	ﾌｫｰｶｽ	フォーカスを調整します。
10	Lens	レンズの垂直または水平オフセット設定を調整します。
11	ｽﾞｰﾑ	ズームを調整します。
12	戻る	前のレベルに戻るか、トップレベルにある場合はメニューを終了します。

2.3 入力 / 出力 (I/O) パネル



番号	コネクタ名称	番号	コネクタ名称
1	3D 同期出力	9	3G-SDI
2	DVI-D	10	HDMI -1
3	VGA イン	11	USB
4	VGA アウト	12	ミニ USB
5	コンポーネントイン	13	イーサネット
6	3D 同期入力	14	HDBaseT
7	RS232	15	リモート出力 / 入力
8	CVBS		

2.4 リモコン

20 m 以下のケーブル長を使ってください。ケーブル長が 20 m を超える場合、リモコンが正常に動作しない場合があります。

番号	名称	説明
1	シャッター	ビデオ画像を表示または空白にします。
2	電源オン	プロジェクターをオンにします。
3	ｶﾞﾝﾏ	中間レベルを調整します。
4	明るい	画像の光の量を調整します。
5	PIP/PBP	PIP/PBP のオン / オフを切り替えます。
6	ｻｲｽﾞ	PIP/PBP のサイズを調整します。
7	数字キー	チャンネルや値などの数字を入力します。
8	Help	ソース接続に対する手順を表示します。
9	Menu	メニューを表示します。
10	矢印キー	• 上または下の設定を調整します。 • メニュー内を移動します。
11	Test	テストパターンを表示します。
12	自動	画像を自動的に最適化します。
13	OSD	OSD メニューを表示したり、隠したりします。
14	水平キーストーン	水平キーストーンを調整します。
15	垂直キーストン	垂直キーストーンを調整します。
16	スタンバイ	プロジェクターをオフにします。
17	ｺﾝﾄﾗｽﾄ	暗い部分と明るい部分の差を調整します。
18	ホットキー	プリセットキーを素早く選択します。
19	ｽﾜｯﾌﾟ	メインと PIP/PBP 画像を切り替えます。
20	ﾚｲｱｳﾄ	PIP/PBP のレイアウトを調整します。
21	ﾌｫｰｶｽ	フォーカスを調整し、画像の鮮明度を改善します。
22	ｽﾞｰﾑ	ズームを調整し、画像を好きなサイズに変更します。
23	Proj キー	Proj キーに続いて 1 ～ 9 の間で数字を押して、ID を割り当てます。PROJ、続いて数字 0 を押してユニバーサルリモート ID に戻ります。
24	終了	前のレベルに戻るか、トップレベルにある場合はメニューを終了します。
25	入力	• ハイライトされたメニューを選択します。 • 値を変更するか、または受け入れます。
26	入力	メインまたは PIP/PBP 画像を選択します。
27	情報	ソース画像の情報を表示します。
28	水平レンズ	水平レンズシフト - 画像の位置を水平に調整します。
29	垂直レンズ	垂直レンズシフト - 画像の位置を垂直に調整します。

2.5 LED ステータスインジケータ

LED ステータスインジケータはプロジェクター右側にあります。各 LED を次に説明しています。

- ランプ LED

LED の状態	プロジェクターの状態
赤（短く点滅）	ランプがなかなか点灯しません。（点灯が停止します。）
赤（点灯）	ランプが急にシャットダウンしました。（システムが冷却状態になります。）
黄（点灯）	ランプ寿命が切れました。ランプを交換してください。（プロジェクターが起動時にランプ交換 OSD メッセージを表示します。）
緑（点灯）	ランプはオンで、正常に作動しています。
緑（短く点滅）	プロジェクターランプはオンになっています。
オフ	ランプはオフです。

- ステータス LED

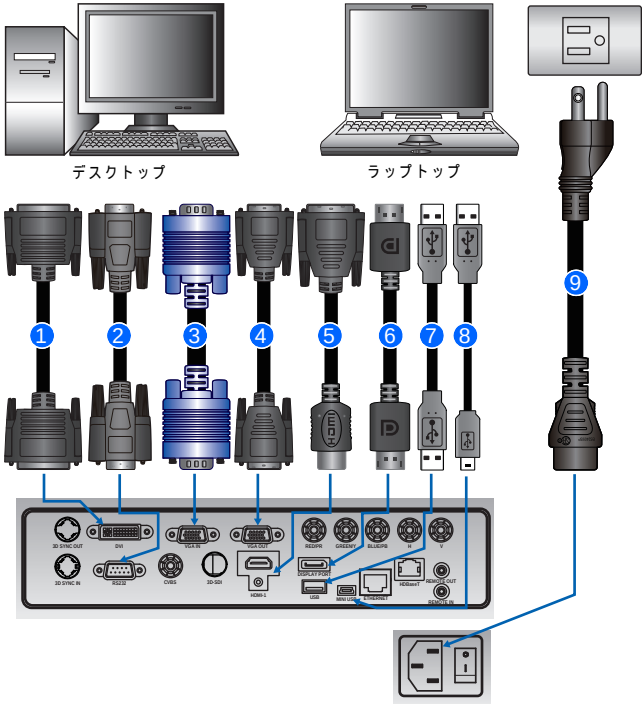
LED の状態	プロジェクターの状態
オフ	AC 電源はオフです（AC プラグが差し込まれていません）。
緑（点滅）	プロジェクターは起動モードまたは冷却モードに入っています。
緑（点灯）	システムは安定的に動作しています。
青（点滅）	プロジェクターの冷却中です。
青 (点灯)	AC が流れており、プロジェクターはスタンバイモードに入っています。
黄（点滅）	警告は、プロジェクターがシャットダウンしない注意状態にあります。ダイナミックブラックエラーまたは高海抜モードの入力は、ランプドライバーの過熱によるものです
黄（点灯）	プロジェクターが警告を発している間にエンドユーザーはプロジェクターの電源をオフにします。
赤（点滅）	エラーは、プロジェクターがシャットダウンする原因となった、あるいは明らかに原因となる注意状態です。（ファンの不具合、過熱、フィルター取付不良、CW 不具合）
赤（点灯）	プロジェクターが警告を発している間にエンドユーザーはプロジェクターの電源をオフにします。
白 (点滅)	プロジェクターはフラッシュ（LAN）更新中です。

- シャッター LED

LED の状態	プロジェクターの状態
オフ	ランプがオン - 画像が表示されています
マゼンダ（点灯）	ランプがオン - 画像がブランクです

3. 本体の設置

3.1 コンピュータとの接続

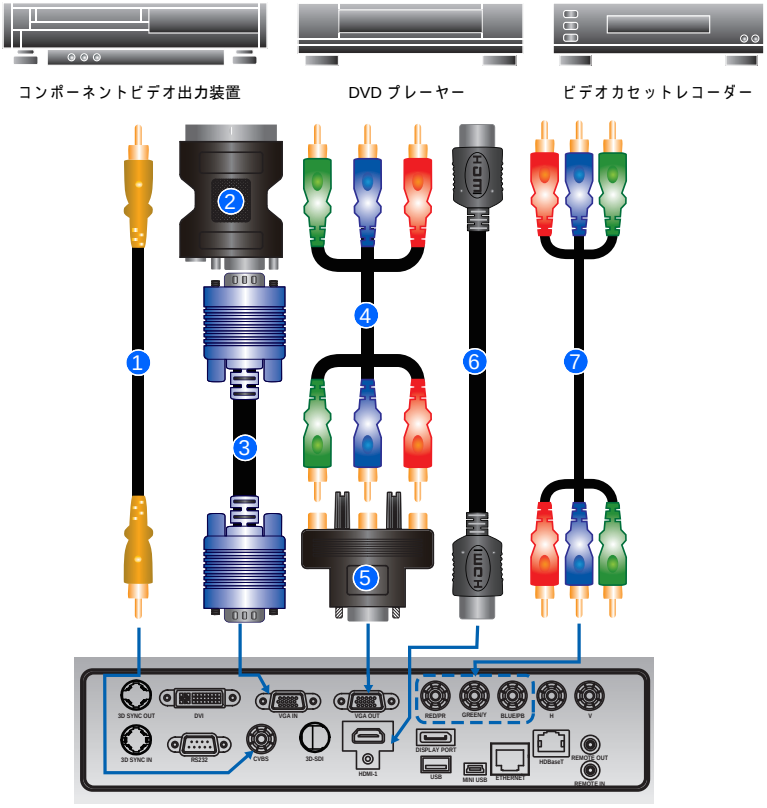


番号	コネクタ名称	番号	コネクタ名称	番号	コネクタ名称
1	DVI ケーブル	4	VGA 出力ケーブル	7	USB A タイプケーブル
2	RS232 ケーブル	5	HDMI ケーブル	8	USB タイプ B ミニケーブル
3	VGA 入力ケーブル	6	DisplayPort ケーブル	9	電源コード

注意：

- ***図は、さまざまなデバイスへの接続に使用されるケーブル / コネクタを示しています。***
- ***付属品はお住まいの国や地域によって、図に示されるものと異なる場合があります。***
- ***この図は単にあくまでも例示を目的としたものであり、これらの付属品がプロジェクターに付属することを示すものではありません。***

3.2 ビデオ装置との接続



番号	コネクタ名称	番号	コネクタ名称
1	CVBS ケーブル	5	15 ピン ～ 3 RCA コンポーネント / HDTV アダプタ
2	VGA ～ RBG SCART	6	HDMI ケーブル
3	VGA 入力ケーブル	7	コンポーネント (YPbPr) ケーブル
4	3 RCA コンポーネントケーブル		

注意:

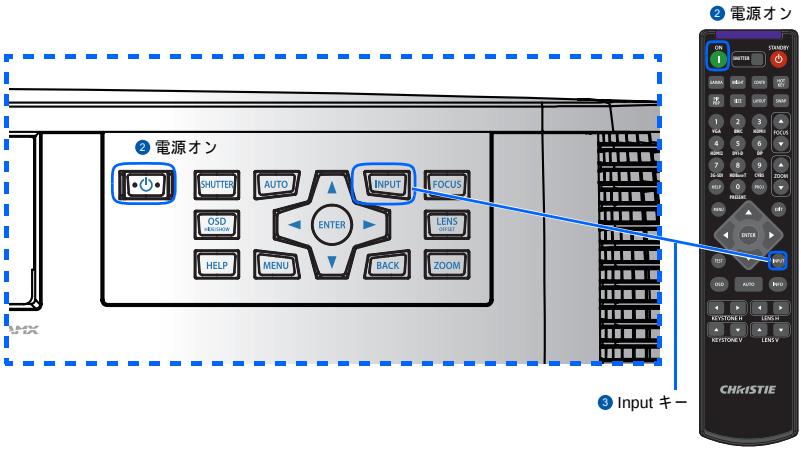
- ***図は、さまざまなデバイスへの接続に使用されるケーブル / コネクタを示しています。***
- ***付属品はお住まいの国や地域によって、図に示されるものと異なる場合があります。***
- ***この図は単にあくまでも例示を目的としたものであり、これらの付属品がプロジェクターに付属することを示すものではありません。***

3.3 プロジェクターの電源投入

1. 電源コードと信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。内蔵キーパッドの電源ボタンが点灯します。
2. リモコンの「ON」を押すか内蔵キーパッドの「⏻」を押すと、プロジェクターがオンになります。ステータス LED が緑に長く点滅します。❷
3. ソースの電源を入れます。リモコンの［Input キー］を選択し、入力ソース（VGA、BNC、HDMI、コンポーネント、S- ビデオ、コンポジットビデオのいずれか）を選択します。❸
4. プロジェクターが選択されたソースを検出し、画像を表示します。

注意：

❖ ***プロジェクターを初めてご使用になる場合、起動画面が表示された後にメインメニューからご自分の言語を選択してください。***



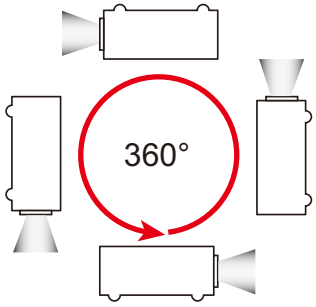
3.4 プロジェクターをオフにする

1. 内蔵キーパッドまたはリモコンの「⏻」ボタンを押してプロジェクターの電源を切ります。表示された画像に警告メッセージが表示されます。
2. もう一度「⏻」ボタンを押して、選択内容を確定します。「⏻」ボタンをもう一度押さない場合は、メッセージが 3 秒後に消えます

3.5 プロジェクターの位置を調整する

プロジェクターの位置は、スクリーンのサイズや形、電源コンセントの位置、およびプロジェクターとその他のデバイスとの距離に基づいて選択します。以下の一般ガイドラインに従ってください。

- プロジェクターは、画面に対して直角となる、表面が平らな場所に配置します。プロジェクター（標準レンズ搭載の場合）は、投写スクリーンから少なくとも 0.9 m (3 ft) 離します。
- プロジェクターをスクリーンから要求された距離に配置します。プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離、ズーム設定、そしてビデオ形式が、投写される画像のサイズを決定します。
- 固定短焦点レンズの場合、初期設定のアングルで画像が出てあいまいますが、レンズシフト機能で画像のオフセットが変化します。
- レンズ投影距離率 :
  - レンズ 1.2 ～ 1.5 (WU/HD)
  - レンズ 1.5 ～ 2.0 (WU/HD)
  - レンズ 2.0 ～ 4.0 (WU/HD)
- 360 度の操作（軸がもっとも広い場合のみ）

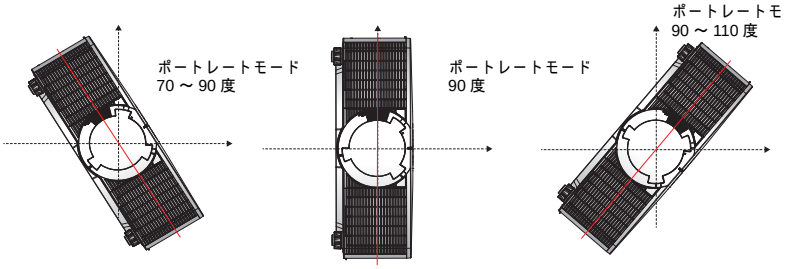


注意 :

❖ ***水平からのランプ軸の最大傾斜は ±20 度です。***

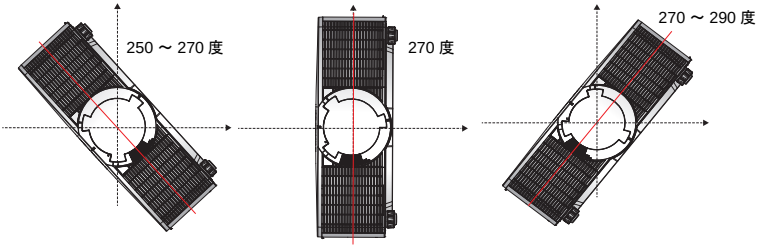
ポートレートモード

- 視野角が以下の図に示すように、70° ～ 110° 内にあるとき、プロジェクターはポートレートモードに入っています。



非サポートモード

- 視野角が以下の図に示すように、250° ～ 290° 内にあるとき、プロジェクターは非ポートレートモードに入っています。
- プロジェクターライトの「赤」ステータス LED がオンになっています。



⚠警告

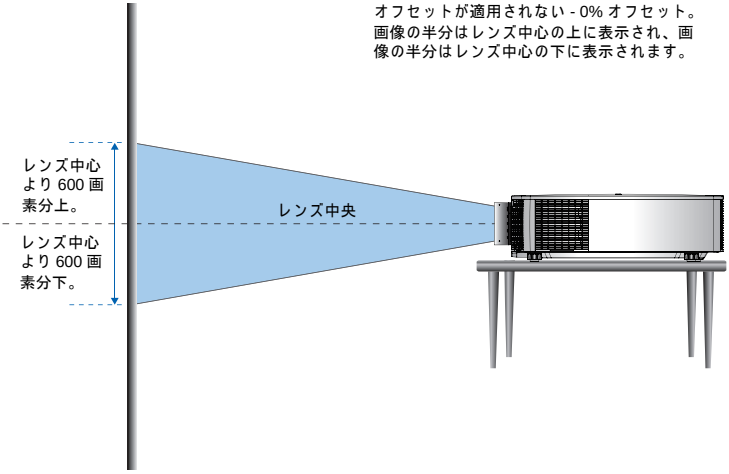
- プロジェクターを、非ポートレートモードで操作しないでください。

3.6 レンズオフセットの計算

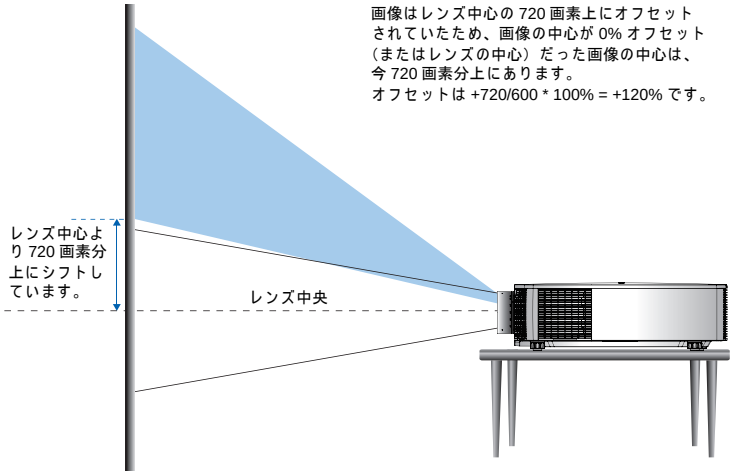
- プロジェクターの垂直画像オフセット（シフト）範囲は +/-120% (WUXGA) および +/-140% (HD) です。プロジェクターの水平画像オフセット（シフト）範囲は +/-50% (/HD/WUXGA) です。
- レンズのオフセットの計算方法は、業界標準に準拠しています。垂直レンズオフセットの例 :
  - 0% オフセットで（または軸上で）、画像の中心はレンズの中心になるため、画像の半分はレンズ中心の上に、半分は下に表示されます。
  - +100% 補正では、画像のすべて (または 100%) がレンズ中心部の上に表示されます。
  - % オフセットは、画像サイズの半分まで上下にシフトする画素数の比率として計算されます。WUXGA の例 :
    - 600 画素上にシフトすると、600/600 * 100% のオフセット = 100%
    - 600 画素下にシフトすると、-600/600 * 100% のオフセット = -100%
    - 720 画素上にシフトすると、720/600 * 100% のオフセット = 120%
    - 240 画素上にシフトすると、240/600 * 100% のオフセット = 40%

WUXGA プロジェクター :

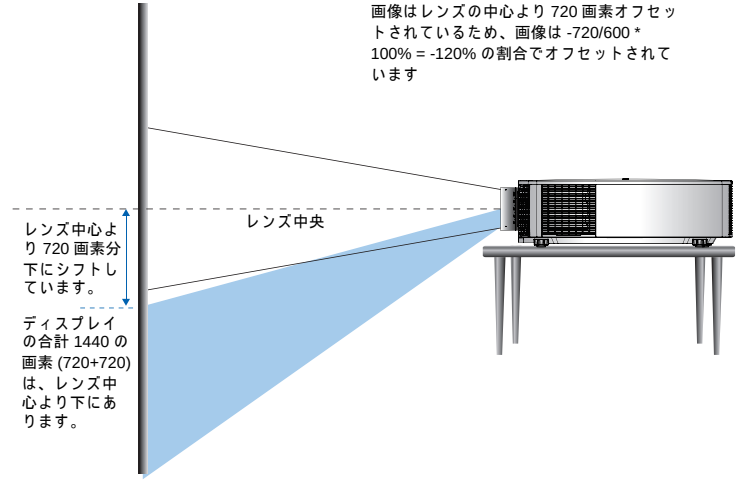
垂直画像オフセット :0% オフセット (WUXGA)



垂直画像オフセット:120% オフセット (WUXGA)

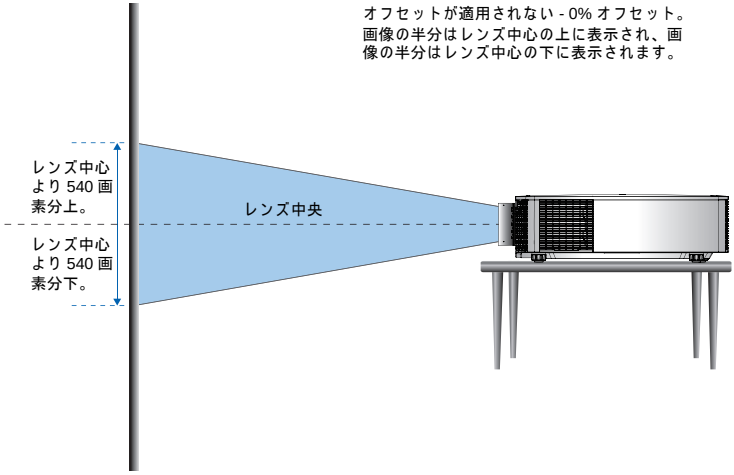


垂直画像オフセット:-120% オフセット (WUXGA)

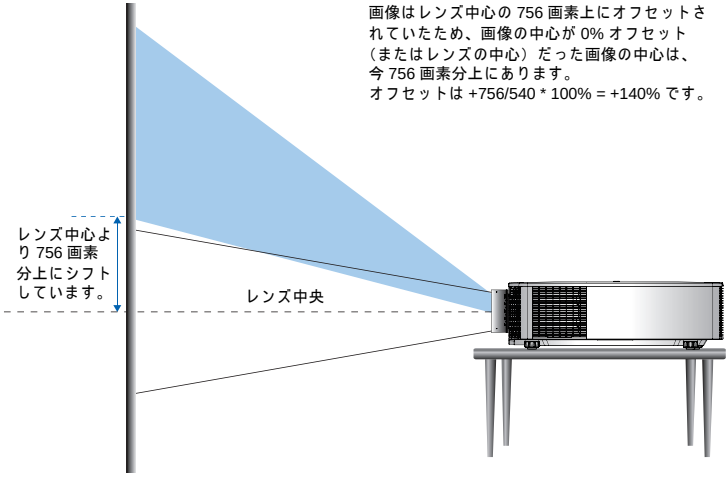


HD プロジェクター :

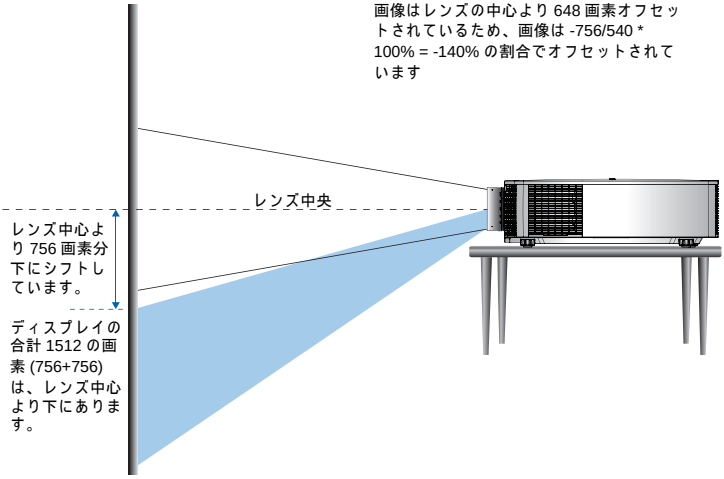
垂直画像オフセット :0% オフセット (HD)



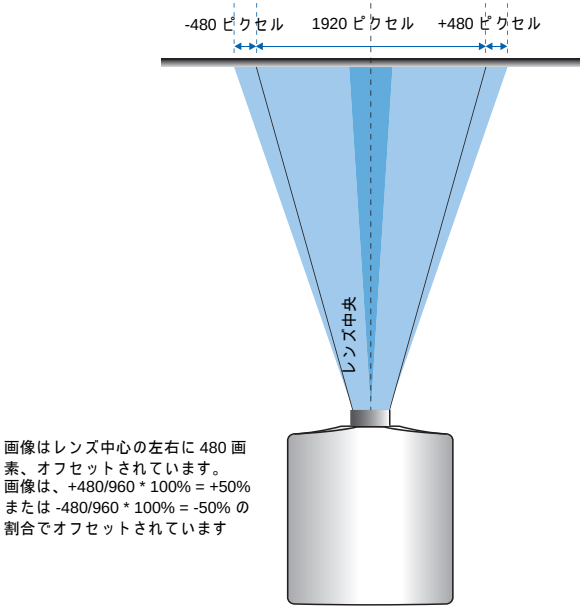
垂直画像オフセット :140% オフセット (HD)



垂直画像オフセット:-140% オフセット (HD)



水平画像オフセット:+/-50% オフセット

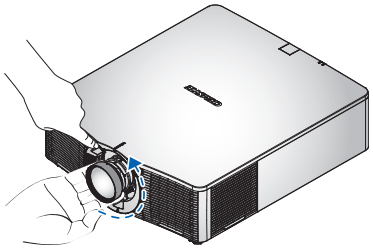


3.7 レンズの取り外しと取り付け

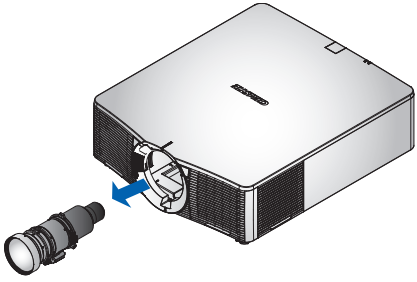
レンズをインストールした後にプロジェクターを操作する場合、レンズキャップがレンズに装着されており、レンズ表面が保護されていることを確認してください。プロジェクターを運搬したり、移動したりする際は、レンズ部分を持たないでください。レンズ、筐体、プロジェクターの内部部品などが破損する恐れがあります。

インストール手順：

1. **レンズの中心：**レンズがその中心位置、または近くにあることを確認してください。オフセットが大きいときにレンズを取り外すと、レンズアセンブリが損傷する原因となります。プロジェクターの電源がオンになっている間、レンズの水平または垂直ボタンを押し、次に Enter を押してレンズを中心に合わせます。
2. **プロジェクターをオフにする：**プロジェクターの電源を切ります。
3. **プロジェクターが冷却するまで待つ：**プロジェクターを冷却してスタンバイモードに入れてから、レンズを交換してください。プロジェクターが冷却したら、レンズを交換する前に電源コードを取り外します。
4. **レンズの取り外し：**レンズリリースボタンを押し、レンズを 4 分の 1 ほど反時計回りに回転して、ロックを解除します。プロジェクターの前からレンズを外します。

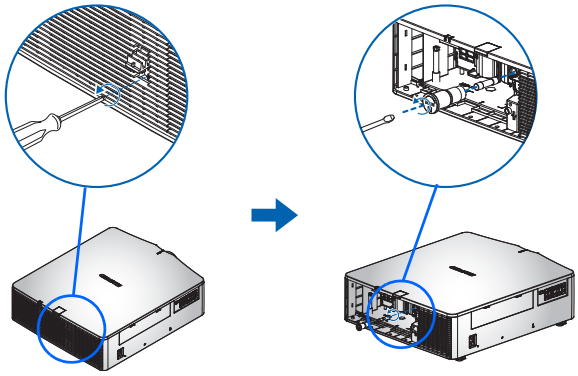


5. **新しいレンズの取り付け：**組立部品をレンズマウントの中に回転させず、まっすぐに押し込みます。レンズキャップを時計回りに回して、レンズを所定の位置にロックします。



3.8 ヒューズの取り付け

1. プロジェクターをオフにする：プロジェクターの電源を切ります。
2. プロジェクターが冷却するまで待つ：プロジェクターを冷却してスタンバイモードに入れます。
3. カバー上のネジを 1 つ外して、背面のファンカバーを取り外します。
4. ヒューズを取り外し、新しいヒューズと交換します。

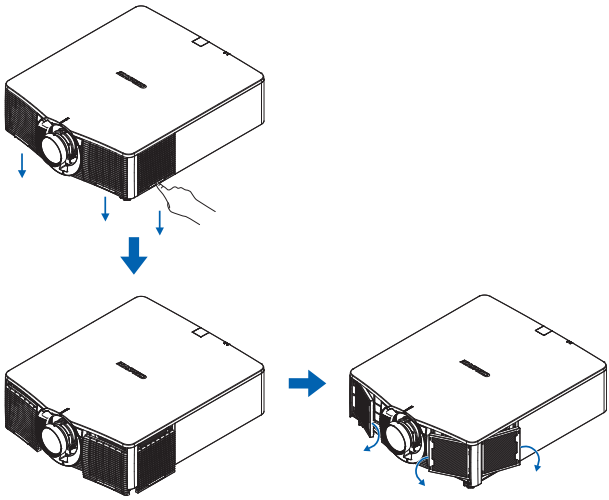


注意：

- ***高定格地域 (200 ～ 240V) の場合、10 アンペアまたは 15 アンペアのヒューズを使用する必要があります。***
  低定格地域 (100 ～ 120V) の場合、20 アンペアまたは 15 アンペアのヒューズを使用する必要があります。

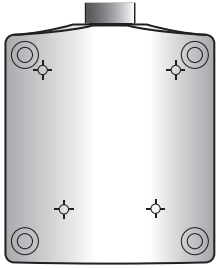
3.9 フィルタの交換

1. プロジェクターをオフにします。
2. プロジェクターが冷却するまで待つ : プロジェクターを冷却してスタンバイモードに入れます。
3. フィルタカバーを押し下げて、取り外します。
4. フィルタを引き出して取り外し、交換します。



3.10 天井への取り付け

プロジェクターの下側の 4 つの取り付けポイントを使用して、プロジェクターを適切な取り付けキットに取り付けます。

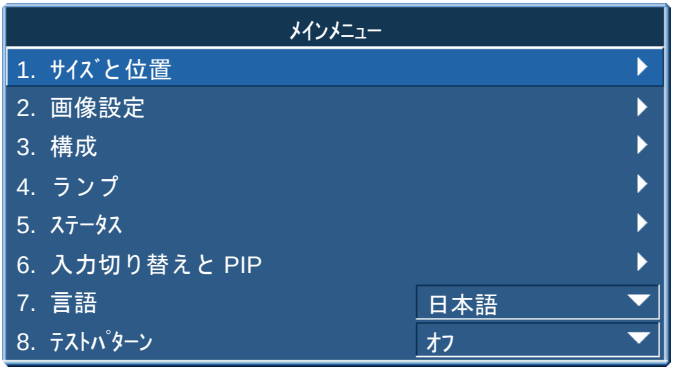


- 不当なマウントを行うと、プロジェクターが落下し、災害や怪我を招く恐れがあります。推奨されない天井マウントツールの使用や、不適切な場所への取り付けにより生じた破損については、本プロジェクターの保証は適用されません。
- インストールの指示をよくお読みになり、キット付属のガイドラインを参照してください。

4. 操作

本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーン・ディスプレー・メニュー (OSD) を使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。

- ほとんどのプロジェクター設定はプロジェクターのメニューシステム内から行うことができます。関連機能がグループ化されており、各グループを以下のようなメインメニューから選択することができます。リモコンまたはプロジェクター背面に内蔵されたキーパッドの MENU ボタンを押してメインメニューを表示します。
- 矢印キーを使ってメニュー内を上下に移動します。
- ENTER キーを押すと選択されたメニューを確定したり、または値を変更 / 確定することができます。
- メニューで次に調整する項目を選択し、上記と同じ手順で設定を調整します。
- EXIT を押すと前のメニューに戻ります。トップレベルにいる場合、EXIT を押すとメニューを終了します。



4.1 サイズと位置のメニュー

サイズプリセット

検出されたサイズの画像を表示、または縦、横、両方の長さを最大化して画像をリサイズ、または本来のアスペクト比を維持しながら最大サイズまでリサイズします。

- 自動 : 検出されたサイズで表示します。
- ネイティブ : ネイティブ解像度で表示します。
- 4:3: 4:3 のアスペクト比を維持します。
- レターボックス : アクティブコンテンツを全画面に拡大します。
- フルサイズ : 全画面表いします（ソースのサイズを問わず）。
- 全幅 : 全幅に合わせ、アスペクト比を維持して表示します。
- 全長 : 全長に合わせ、アスペクト比を維持して表示します。
- カスタム : 画像表示が切り取られないように、表示を水平または垂直に引き伸ばします。

オーバースキャン

画像周辺のノイズを消去します。オーバースキャンズームでは、画像が元のサイズから 6% 拡大します。オーバースキャン取りミン部は元の画像の 4 つの端でアクティブなピクセルを 6% トリミングします。

ピクセルトラック

アナログ RGB 信号のみ。ちらつき、縦線、画面全体に及ぶ帯など、ピクセルトラッキングの劣化による症状を緩和します。正しいピクセルトラッキン

グが行われることで、画質が安定し、アスペクト比が維持され、ピクセルフェーズが最適化されます。

ﾋﾟｸｾﾙﾌｪｰｽﾞ

アナログ RGB 信号のみ。ピクセルトラッキングを最適化した後も、まだ画像にちらつきやノイズが見られる場合、ピクセルフェーズを調整します。ピクセルフェーズは、ピクセルサンプリングクロックの位相を受信信号に対して調整します。

水平位置

画像を利用可能なピクセル範囲内で左右に移動します。

垂直位置

画像を利用可能なピクセル範囲内で上下に移動します。

デジタル水平ズーム

プロジェクターの表示範囲のサイズを水平に変更します。この設定で表示範囲をリサイズした場合、デジタル水平シフトとデジタル垂直シフトの設定を変更することで移動することができます。

デジタル垂直ズーム

プロジェクターの表示範囲のサイズを垂直に変更します。この設定で表示範囲をリサイズした場合、デジタル水平シフトとデジタル垂直シフトの設定を変更することで移動することができます。

ﾃﾞｼﾞﾀﾙ水平ｼﾌﾄ

表示範囲のサイズがデジタルズーム設定で変更されている場合、表示範囲を水平に移動できます。

ﾃﾞｼﾞﾀﾙ垂直ｼﾌﾄ

表示範囲のサイズがデジタルズーム設定で変更されている場合、表示範囲を垂直に移動できます。

形状補正

ワープ調整には 2 つの方法があります。

1. PC モードオフ :

ユーザーは、OSD により、水平 / 垂直キーストーン、ピンクッション、バレル制御を行うことができます。

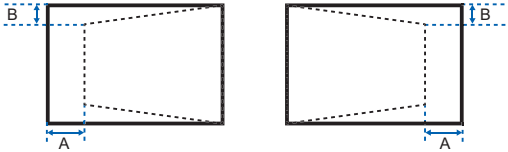
2. PC モードオン :

別に提供される PC アプリで、任意のワープまたは混合制御を行うことができます。

形状補正機能互換

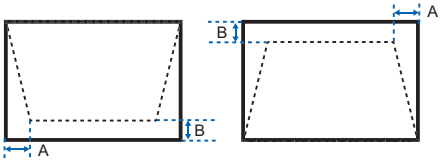
ワープ機能	4 角	カーブ面 (2x2)	キーストン	ピンクッションとバレル	回転
4 角	--	✓	✓	✓	✓
カーブ面 (2x2)	✓	--	X	X	X
キーストン	✓	X	--	✓	X
ピンクッションとバレル	✓	X	✓	--	X
回転	✓	X	X	X	--

- オフ: 形状補正は画像に適用されません。
- 水平キーストーン: キーストーンを水平に調整し、より正方形に近い画像を作ります。水平キーストーンは台形になり、画像の左右の縁の長さが同じでなくなり、上下が片側に傾いた画像の形状を補正するために使用されます。これは、軸状アプリケーションで水平に使用することを意図しています。水平オフセット用途の場合、オプションのデュアルプロセッサワープモジュールを使用して 4 角補正を使用する必要があります。。



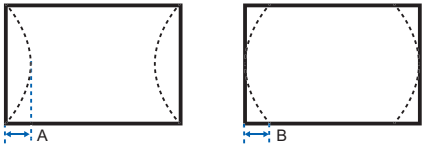
番号	1080P	WUXGA
A	30.60%	30.34%
B	14.20%	12.86%

- 垂直キーストーン: キーストーンを垂直に調整し、より正方形に近い画像を作ります。垂直キーストーンは台形になり、画像の左右の縁の長さが同じでなくなり、上下が片側に傾いた画像の形状を補正するために使用されます。これは、軸状アプリケーションで水平に使用するためのものです。水平補正画像の場合、オプションのデュアルプロセッサワープモジュールを使用して 4 コーナー補正を使用する必要があります。。



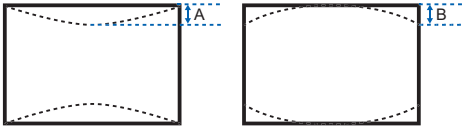
番号	1080P	WUXGA
A	5.12%	5.04%
B	11.00%	10.52%

- 水平ﾋﾟﾝｸｯｼｮﾝ : ピンクッションを水平に調整し、より正方形に近い画像を作ります。



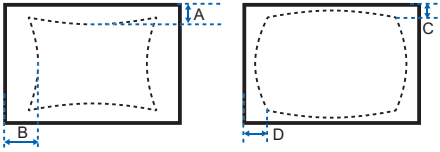
番号	1080P	WUXGA
A	5.17%	5.39%
B	5.17%	4.24%

- 垂直置きのピンクッション : ピンクッションを垂直に調整し、より正方形に近い画像を作ります。。



番号	1080P	WUXGA
A	9.67%	7.44%
B	9.83%	7.58%

- 針刺し / バレル : レンズまたは統計距離からわずかにカーブした歪みを補正できます。

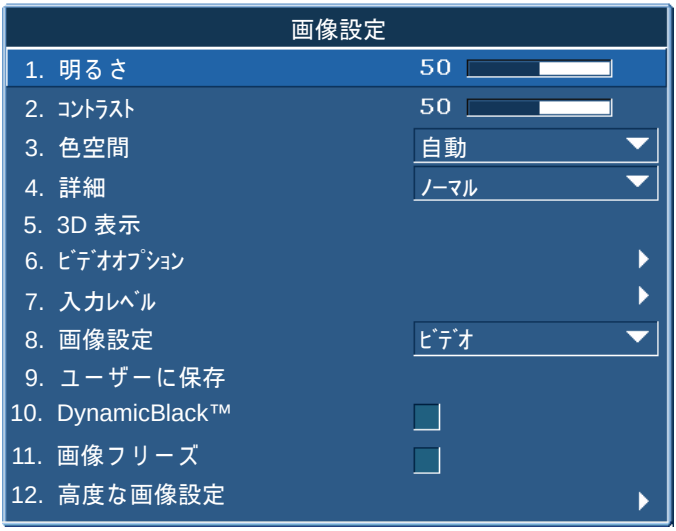


番号	1080P	WUXGA
A	9.19%	7.44%
B	5.28%	5.39%
C	8.65%	6.87%
D	3.76%	3.36%

自動画像

プロジェクターが入力信号を再取得しロックするように強制します。信号クオリティがあまりよくない場合に便利な機能です。「標準モード」は 4:3 入力ソースのすべてをサポートできます。
「ワイドモード」は 16:9 入力ソースのすべて、および 4:3 入力ソースのほとんどをサポートできます。これらの「ワイドモード」(例 : 1400 x 1050) で認識されない 4:3 入力ソースの場合、「標準モード」を使用して自動画像を実行します。

4.2 画像設定メニュー



明るさ
画像の濃度を調整します。

ｺﾝﾄﾗｽﾄ
画像の明るい部分と暗い部分の差異を調整し、白と黒の量を変更します。

色空間
入力信号色に対して特別に調整された色空間を選択します。
この機能は、アナログ信号と特定のデジタルソースでのみ使用できます。

詳細
画像のエッジの強調を調整します。

3D 表示
3D 関連の設定を選択します。

- 3D 対応 : 3D フォーマットを設定します。強制 3D フォーマットおよびフレームシーケンシャル 3D@120Hz をサポートします。
- 3D 反転 : シングルプロジェクターを使用するアプリケーションのために 3D 同期信号を反転します。
- Toggle 3D Blending: 3D 混合用に複数プロジェクターを使用するアプリケーションのために 3D 同期信号を反転します。

ﾋﾞﾃﾞｵｵﾌﾟｼｮﾝ

この機能はビデオソースのみで使用できます。

- 色 : ビデオ映像を、白黒から完全飽和色まで調整します。色設定はビデオソースにのみ適用されます。
- 色合い : NTSC ビデオ映像の赤～緑の色バランスを調整します。色合い設定は NTSC ビデオソースにのみ適用されます。
- ﾉｲｽﾞﾘﾀﾞｸｼｮﾝ : 画像に一時的にまたは部分的に表示されるノイズを低減します。
- ﾌﾚｯｼｭﾄｰﾝ補正 : 画像に適用されるフレッシュトーン補正の両を調整します。
- ﾋﾞﾃﾞｵ黒ﾚﾍﾞﾙ : 現在の入力画像を分析し、オフセット値を計算します。このオフセット値をアナログからデジタルコンバータ黒レベル値に加えます。これにより、アナログソースの黒レベルが最適化されます。
- ﾌｨﾙﾑを検知 : フィルムモード検知を制御し、入力ビデオのソースがフィルムか、ビデオかを判断します。
- ｸﾛｰｽﾞﾄﾞｷｬﾌﾟｼｮﾝ : オーディオがミュートされた際に、クローズとキャプションの表示を制御します。
- この設定がオフではない場合、オーディオがミュートされると、ソースが NTSC で、選択チャンネルにキャプションが含まれる場合、プロジェクターは画像の上にテキストを表示します。

入力ﾚﾍﾞﾙ

VGA/ コンポーネント信号のみ。

- 画像の赤、緑、または青チャネルのゲインを調整します。黒と白に影響を及ぼします。
- 画像の赤、緑、または青チャネルのオフセットを調整します。黒と白に影響を及ぼします。
- 同期いき値 :（プログレッシブ信号のみ）DVD プレーヤーなどのハードウェアデバイスがプロジェクターと正しく同期されていない場合は、このオプションを選択すると、プロジェクターに接続されたデバイスを同期することができます。

画像設定

プレゼンテーション、ビデオ、明るさ、リアル、Dicom Sim、壁、その他のユーザー定義のプリセットなど、特定の状況下で画像を表示させるためにプロジェクターを最適化します。ガンマ、シャープネス、ホワイトピーキング、オーバースキャン、輝度、コントラスト、カラー、色合い、赤ゲイン、緑ゲイン、青ゲイン、赤オフセット、緑オフセット、青オフセットに影響を及ぼします。

ユーザーに保存

画像設定を調整し、「ユーザーに保存」を選択して画像設定として保存します。ここでの設定は、後に「画像設定」メニューで「ユーザー」を選択すると、呼び出すことができます。明るさ、コントラスト、色、色合い、赤のゲイン、緑のゲイン、青のゲイン、赤オフセット、緑オフセット、青オフセッ

ト、色温度、ガンマ、詳細、ホワイトピーキング、オーバースキャンの設定が保存されます。

DynamicBlack™

ダイナミックブラック機能を有効または無効にします。この機能を有効にすると、コントラスト比が著しく向上します。

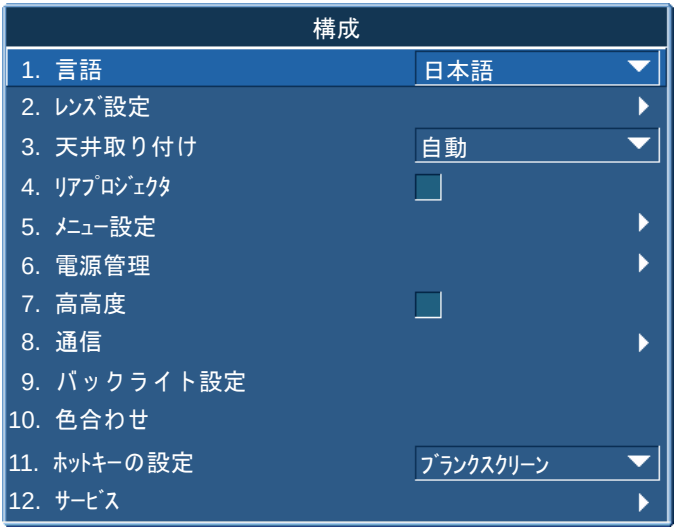
画像フリーズ

スクリーン画像を一時停止します。

高度な画像設定

- ｶﾞﾝﾏ : ﾋﾞﾃﾞｵ、ﾌｨﾙﾑ、明るい、CRT、DICOM から適切なガンマを選択してください。
- ﾎﾜｲﾄﾋﾟｰｷﾝｸﾞ : （ビデオソースのみ）白の明るさを 100% 近く増加します。
- 色温度 : 色の濃度を変更します。リストから温度値を選択してください。
- ｴｯｼﾞ強化 : エッジ強化を提供します。

4.3 構成メニュー



言語

OSD ディスプレイは英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語 (簡体字)、日本語、韓国語、ロシア語の各言語から選択できます。

ﾚﾝｽﾞ設定

- ﾌｫｰｶｽおよびｽﾞｰﾑ : 画像のフォーカスとズームインまたはアウトを調整します。
- ﾚﾝｽﾞｼﾌﾄ : レンズを上下左右にシフトさせます。
- 全レンズモーターのロック : すべてのレンズのモーターを動かないようにロックする際に選択します。ズーム、フォーカス、水平位置や垂直位置の設定ができなくなり、その他のレンズ機能の変更や上書きはすべて事実上ロックされます。複数のプロジェクターをインストールする際など、うっかり位置を変更してしまうことを防ぐには便利な機能です。
- レンズキャリブレーション : レンズの中央を校正します。

天井取り付け

天井に取り付けられたプロジェクターからの投影は、画像を上下逆に置いてください。

ﾘｱﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀ

画像を逆転させ、透明な画面に後ろから投射します。

メニュー設定

- メニュー水平オフセット : OSD の水平位置を変更します。
- メニュー垂直オフセット : OSD の垂直位置を変更します。
- ﾒｯｾｰｼﾞを表示 : 画面にステータスメッセージを表示します。
- ﾒﾆｭｰの透明度 : OSD メニューの背景を透明にします。

  注意 :

  ❖ ***値が増えるほど、メニュー背後の画像がよりはっきりと映ります。***
- ｽﾌﾟﾗｯｼｭ画面の設定 : 使用するスプラッシュ画面を選択します。
- PIN 保護 : PIN （暗証番号）機能は、プロジェクターを暗証番号で保護することができます。PIN 機能を有効した後は、投影を行う際に PIN を入力する必要があります。
- PIN を変更 : PIN を変更することができます。

電源管理

- ｽﾀﾝﾊﾞｲﾓｰﾄﾞ : AC 電源に接続された時、プロジェクターはスタンバイモードとなります。(<0.5W)
- AC 電源オン : 電源が接続されると、プロジェクターは自動的にオンになります。
- 自動ｼｬｯﾄﾀﾞｳﾝ : あらかじめ設定された時間を経過しても信号が検出されない場合、プロジェクターは自動的にオフになります。プロジェクターの電源が切れる前に有効な信号をキャッチすると、画像が表示されます。
- ｽﾘｰﾌﾟﾀｲﾏ : あらかじめ設定された時間 (2、4 または 6 時間) を経過した後、自動的にプロジェクターの電源を切ります。

高高度

高高度モードのオン / オフを切り替えます。オンのときには、高高度の場合に十分な空気流を確保できるようにファンが高速で作動します。

通信

- ﾈｯﾄﾜｰｸ : ネットワーク設定を行います。
  - DHCP: DHCP のオン / オフを切り替えます。
  - IP ｱﾄﾞﾚｽ : ネットワーク IP アドレスを割り当てます。
  - サブネットマスク : ネットワークサブネットマスクを割り当てます。
  - デフォルトゲートウェイ : ネットワークデフォルトゲートウェイを割り当てます。
  - ホスト名 : ホスト名を表示します。
  - MAC アドレス : ネットワーク MAC アドレス値を表示します。
  - ﾈｯﾄﾜｰｸﾒｯｾｰｼﾞを表示 : ネットワークメッセージのオン / オフを切り替えます。
  - ﾈｯﾄﾜｰｸの再起動 : ネットワークを再起動します。
  - ﾈｯﾄﾜｰｸﾌｧｸﾄﾘｰﾘｾｯﾄ : ネットワーク設定で工場出荷時にリセットします。ププロジェクター名、LAN IP、WLAN IP、SNMP 設定をリセットすることができます。
- シリアルポート通信速度 : シリアルポートとボーレートを選択します。

- ｼﾘｱﾙﾎﾟｰﾄのｴｺｰ : シリアルポートに文字をエコーさせるかどうかを管理します。
- シリアルポートのパス : RS232 または HDBaseT からシリアルポートのパスを選択します。
- プロジェクタアドレス : プロジェクターアドレス (0-9) 設定します。プロジェクターはプロジェクターと同じアドレスで設定された IR リモートセットに、またはアドレス 0 に設定された IR リモートに応答します。

バックライト設定

キーパッドおよびステータス LED のバックライトの動作とタイムアウトの設定を制御します。

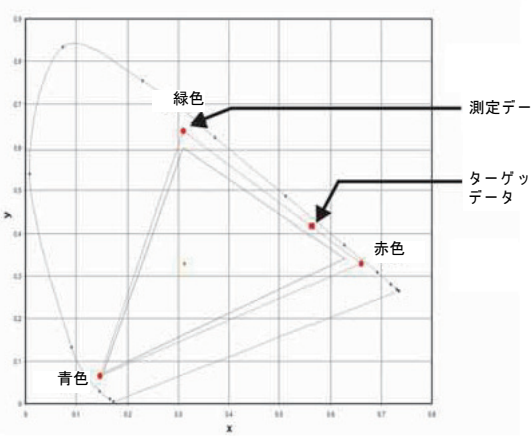
色合わせ

1 台のプロジェクターまたは 1 つのアプリケーションに対して固有の色域（範囲）が必要となるか、複数の隣り合った表示にまたがって正確に色を一致させる必要があります。メーター調整または手動調整によりカラーマッチングを使用して、各原色のコンポーネント（赤、緑、青、白）の正確な色合いを定義します。

各色の x/y 座標は、標準の CIE 色度グラフでその場所を定義します。これらの数のいずれかまたは両方を変えることで色合いが変わり、可能な色の範囲が変更されます。例えば、赤の x/y 座標を変えると色はオレンジか紫に近づき、赤いコンポーネントを持つすべての表示色に影響を及ぼします。スライドバーを調整するか希望する新しい特有の座標を入力して、環境やアプリケーションに必要な色域を定義または変更します。

選択した方法を有効にする (メーターまたは手動調整) – これにより、他の方法が自動的に無効になります。両方の方法の場合、自動テストパターンが有効になると、無地のテストパターンが配置したメニュー項目に従って表示されます。

- メーター調整
  1. カラーメーターを使用して、プロジェクター画像用の現在の赤、青、白の x および y 座標を測定されたデータメニューに入力します。これは、プロジェクターの基準点です。メニューのデフォルト値は、すべてのプロジェクターの平均に基づいています。
  2. マッチするすべてのプロジェクターの値を測定した後、ターゲット値を計算します。
  3. x、y に対してターゲット値を入力すると、ターゲットデータメニューに各色が表示されます。



- 手動調整
  1 カラースライドバーを調整し、目またはメーターで画像の色を判断します。ユーザー定義の色「調整」を適用できます。
  2 特定の色座標が頭にない場合このサブメニューを使用して、目またはメータで色性能を判断します。メーター調整に関しては、各色制御はその色の新しい x/y 座標を実際に定義し、その色相を変えます。主な色（赤の赤い部分、緑の緑部分、青の青い部分）はその色コンポーネントの強度を調整しますが、色（例えば、赤の緑部分と赤の青い部分）の変更は x と y 値を変更し、その色の色相を変えます。同時に、白い点の色を制御するために主要な色も使用されます。

ﾎｯﾄｷｰの設定

リストにある機能をハイライトし、ENTER を押して、各機能をリモコンのホットキーに割り当てます。専用のボタンを持っていない機能を選択し、この機能にホットキーを割り当てると、ホットキーを押しただけで簡単に機能を実行することができます。

ｻｰﾋﾞｽ

- ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀ情報 : 現在のプロジェクター設定を表示します（読み取り専用）。
- ﾌｧｸﾄﾘｰﾘｾｯﾄ : すべての設定を初期設定にリセットします。ネットワークはリセットしませんが、RS232 はリセットします。
- ﾃｽﾄﾊﾟﾀｰﾝ : 任意の内部テストパターンを選んで表示するか、またはオフを選択してテストパターンを無効にします。
- カラーホイールインデックス (2x): カラーホイールインデックスを 2X の速度に設定します。この設定はメインボードが変更されるときのみに使用し、映像品質を最適化するために調整が必要です。

- カラーホイールインデックス (3x): カラーホイールインデックスを 3X の速度に設定します。この設定はメインボードが変更されるときのみ使用し、映像品質を最適化するために調整する必要があります。
- エラーログ : デバッグ用にプロジェクターのエラーログを表示します。
- モード調整 : EDID タイミングテーブルの信号に対して H と V スタート位置を微調整し、システムに値を記録しタイミングテーブルを無効にします。設定はメニューを終了するまえに「記録に保存する」必要があります。保存しなければ失われます。オリジナルのタイミングテーブル設定に戻すには、各設定を手動で消去しなければなりません。工場出荷時は、これらの無効設定を消去しません。
- 外気温高温警報 : 周囲温度が 35°C を超えると、警告メッセージを表示します。
- DA モード :DA モードにより、ユーザーは、振動が激しい、埃が多い、あるいは動作が正常ではない等の理由により偏っている場合、DA 補正を微調整することができます。

  1 DA 補正

    DA 補正を手動で調整して、正しい穿孔にします。ユーザーは、スライドバーの値を変更し、投影画像を観察することができます最大輝度に対応した値を探します。推奨される値は 10 ～ 16 の範囲です。

  2 DA 較正

    これは、高度 DA 補正較正を有効にする一般スイッチです。高度アルゴリズムを有効にして、DA 問題を解消します。

  3 DA チェック

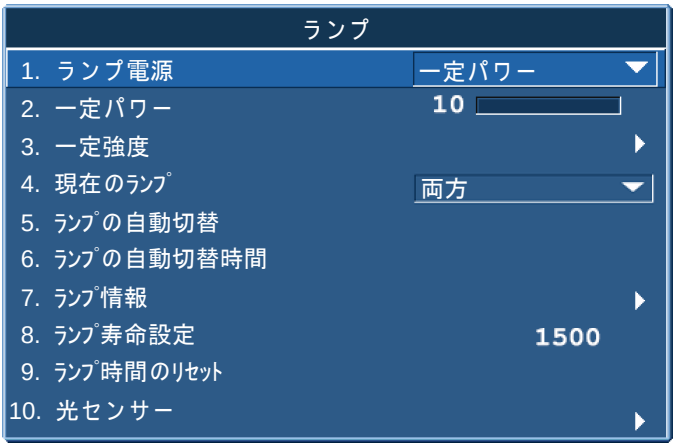
    高度 DA 較正補正 1 回をすぐに実行し、最大輝度段階にします。

  4 常時較正

    「DA 較正」が有効な状態で、毎回の起動時に高度 DA 補正の較正を自動的に作動させます。

    このアイテムは、DA 不具合が検出されるごとに、自動的に確認することができます。

4.4 ランプ



ランプ電源

一定パワー、一定強度または Eco モードを選択します。Eco モードに入っているとき、プロジェクターは最低のファン速度に調整してランプパワーを最小設定に切り替えます。

一定パワー

ランプ電力の値をワットで設定します。

一定強度

一定の明るさを維持するには、一定強度に値を設定します。
光センサーは光レベルをモニターし、ランプの明るさが時間の経過につれ減衰するとさらにパワーを追加します。ランプ設定が最大の 465W のパワーに達すると、この設定が維持されます。一定強度モードが適切に機能するように、光センサーを較正する必要があります。ランプを交換するたびに、較正し直す必要があります。

現在のﾗﾝﾌﾟ

使用中のランプを選択します。

注意:

- ***モードを変更した後そのモードを再び変更するまで 120 秒のタイムロックアウトが適用されます。***

ﾗﾝﾌﾟの自動切替

プロジェクターがランプのスイッチを入れるタイミングを制御します。この機能には故障時のみ、パワーアップで、指定時間後のオプションが用意されています。

ﾗﾝﾌﾟの自動切替時間

ランプ自動切替の時間を設定します。

例 :

1. ランプ条件 : ランプ 1 = 50 時間、ランプ 2 = 60 時間。
2. 現在のランプをランプ 1 - 使用時間の少ない方のランプに設定します。
3. ランプの自動切替を (N) 時間後に、ランプの自動切替時間を 100 時間に設定します。
4. ランプ 1 が 150 時間に達すると、プロジェクターはランプ 2 に自動的に切り替わります。
5. ランプ 2 が 160 時間に達すると、プロジェクターはランプ 1 に自動的に切り替わります。

ﾗﾝﾌﾟ情報

現在のランプ設定を表示します（読み取り専用）。

ﾗﾝﾌﾟ寿命設定

ランプの寿命警告時間を設定します。起動するたびに、ランプ時間がチェックされます。この値を過ぎると、ランプ交換メッセージが表示されます。

ﾗﾝﾌﾟ時間のﾘｾｯﾄ

ランプの使用済み時間カウンターをゼロにリセットします。ランプを交換した後に行ってください。

光センサー

一定強度ランプモードで使用するライトセンサーを較正すると、プロジェクターを一定輝度で設定することができます。ライトセンサーが較正されなかった場合、一定強度モードが無効になる場合があります。新しいランプを取り付けるとき、ライトセンサーキャリブレーションを繰り返す必要があります。

4.5 ステータスメニュー

読み取り専用のステータスメニューには、現在プロジェクターで検出されている標準およびオプションを表示します。

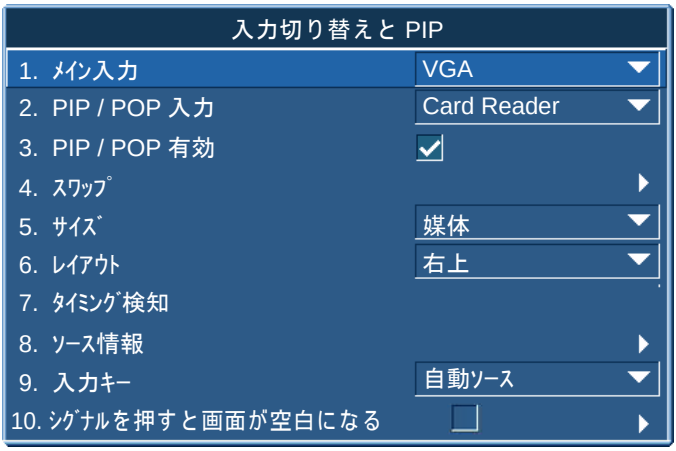
DHD モデルの場合

ステータス	
ﾓﾃﾞﾙ名	D12HD-H
ｼﾘｱﾙ番号	H1YYWWXXX
ﾈｲﾃｨﾌﾞ解像度	1920 x 1080
ﾌｧｰﾑｳｪｱ	V06.00、A06.20、B02.00
ﾒｲﾝ入力	VGA 1
ﾒｲﾝ信号形式	720p
ﾒｲﾝﾋﾟｸｾﾙｸﾛｯｸ	74.256MHz
ﾒｲﾝ同期ﾀｲﾌﾟ	シンクオングリーン
ﾒｲﾝ水平ﾘﾌﾚｯｼｭ	45.10kHz
ﾒｲﾝ垂直ﾘﾌﾚｯｼｭ	60.0Hz
PIP / POP 入力	-
PIP/PBP 信号形式	-
PIP/PBP ﾋﾟｸｾﾙｸﾛｯｸ	-
PIP/PBP 同期ﾀｲﾌﾟ	-
PIP/PBP 水平ﾘﾌﾚｯｼｭ	-
PIP/PBP 垂直ﾘﾌﾚｯｼｭ	-
ﾗﾝﾌﾟの電源設定	10
現在のﾗﾝﾌﾟ	両方
ﾗﾝﾌﾟ 1 時間	70
ﾗﾝﾌﾟ 2 時間	70
ｽﾀﾝﾊﾞｲﾓｰﾄﾞ	0.5W モード
ﾚﾝｽﾞのロック設定	許可
IP ｱﾄﾞﾚｽ	192.168.0.100
DHCP	☐
システム温度	38°C (フィルタなし)

DWU モデルの場合

ステータス	
ﾓﾃﾞﾙ名	D12WU-H
ｼﾘｱﾙ番号	H2YYWWXXX
ﾈｲﾃｨﾌﾞ解像度	1920 x 1200
ﾌｧｰﾑｳｪｱ	V06.00、A06.20、B02.00
ﾒｲﾝ入力	VGA 1
ﾒｲﾝ信号形式	720p
ﾒｲﾝﾋﾟｸｾﾙｸﾛｯｸ	74.256MHz
ﾒｲﾝ同期ﾀｲﾌﾟ	シンクオングリーン
ﾒｲﾝ水平ﾘﾌﾚｯｼｭ	45.10kHz
ﾒｲﾝ垂直ﾘﾌﾚｯｼｭ	60.0Hz
PIP / POP 入力	-
PIP/PBP 信号形式	-
PIP/PBP ﾋﾟｸｾﾙｸﾛｯｸ	-
PIP/PBP 同期ﾀｲﾌﾟ	-
PIP/PBP 水平ﾘﾌﾚｯｼｭ	-
PIP/PBP 垂直ﾘﾌﾚｯｼｭ	-
ﾗﾝﾌﾟの電源設定	10
現在のﾗﾝﾌﾟ	両方
ﾗﾝﾌﾟ 1 時間	70
ﾗﾝﾌﾟ 2 時間	70
ｽﾀﾝﾊﾞｲﾓｰﾄﾞ	0.5W モード
ﾚﾝｽﾞのロック設定	許可
IP ｱﾄﾞﾚｽ	192.168.0.100
DHCP	☐
システム温度	38°C (フィルタなし)

4.6 入力切り替えと PIP メニュー



ﾒｲﾝ入力

アクティブな入力のリストから、メイン入力として使われるものを選択します。

PIP / POP 入力

アクティブな入力のリストから、PIP/PBP として使われるものを選択します。

PIP / POP 有効

2 つのソースを同時に表示するか（メインと PIP/PBP 画像）、または 1 つのソースのみ表示するかを切り替えます。ボックスにチェックを入れると、PIP/PBP ソースのオン / オフを切り替えることができます。メインおよび PIP/PBP 互換性テーブルについては、セクション 6.2 を参照してください。

ｽﾜｯﾌﾟ

メイン画像を PIP/PBP へ、PIP/PBP 画像をメインへと入れ替えることができます。スワップ機能は PIP/PBP が有効な場合のみ利用できます。

ｻｲｽﾞ

PIP/PBP サイズを大中小から選択します。

ﾚｲｱｳﾄ

PIP/PBP 画像の画面上の位置を設定します。

注意：

- ***PIP/PBP レイアウトとサイズ表は下記の通りです。***
- ***P：プライマリソースリージョンを示します（薄い色）。***
- ****：いずれもソースリージョンは同じサイズです。***

PIP/PBP レイアウト	PIP/PBP サイズ		
	小	媒体	大
PBP、より大きい左			
上下、より大きい上			
PBP、より大きい右			
上下、より大きい下			
PIP- 右下			
PIP- 左下			
PIP- 左上			
PIP- 右上			

タイミング検知

タイミング検知モードを広い、またはノーマルに設定します。追加の PC タイミングをサポートするために使用されます。投影された映像が完了していないとき、この機能は映像を調整するために使用されます。「標準モード」は 4:3 入力ソースのすべてをサポートできます。「ワイドモード」は 16:9 入力ソースのすべて、および 4:3 入力ソースのほとんどをサポートできます。「ワイドモード」（例：1400 x 1050）で認識されないこれら 4:3 入力ソースの場合、「標準モード」を使用して自動画像を実行します。

ソース情報

現在のソース設定を表示します（読み取り専用）。

入力キー

すべてのソースをリストするか、またはソースを変更する場合に使用します。

シグナルを押すと画面が空白になる

機能が選択されている場合、光源を変更するとタイミングが安定する前にプロジェクターの画面はブランクになります。

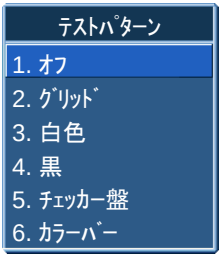
4.7 言語メニュー

OSD 表示で使用する言語を選択できます。

4.8 テストパターンメニュー

任意の内部テストパターンを選んで表示するか、またはオフを選択してテストパターンを無効にします。

- オフ
- 黒
- 白色
- ﾁｪｯｶｰ盤
- ｸﾞﾘｯﾄﾞ
- ｶﾗｰﾊﾞｰ



4.9 Web ユーザーインターフェース

4.9.1 ログオン

Web ブラウザを開き、プロジェクターに割り当てられた IP アドレスを（アドレスバーに）入力します。

1 アクセスタイプリストからログインレベルを選択します。
2 パスワードフィールドにパスワードを入力します。
3 言語リストから適切な言語を選択します。
4「ログイン」ボタンをクリックします。メインウィンドウが表示されます。

4.9.2 メインのタブ付きページ - 全般

- 制御パネル
  メインソース /PIP ソースを選択し、PIP/PBP の有効 / 無効を切り換え、レイアウト /PIP サイズを変更し、テストパターンを交換し変更します。
- プロジェクター情報パネル
  電源ステータス、画像を静止ステータス、OSD ステータス、IP アドレスと MAC アドレスのプロジェクター情報を確認します。
- スイッチパネル
  電源、画像を静止、OSD のオン / オフステータスを切り換えます。

4.9.3　メインのタブ付きページ - ステータス

光源、冷却（ファン）、バージョン番号、信号（ソース）情報の現在のステータスを表示します

4.9.4　メインのタブ付きページ - レンズ

レンズの焦点、レンズシフト、ズーム調整を制御します。

4.9.5　ネットワーク設定

注意：

- ***設定を変更した場合は、プロジェクターのネットワークサブシステムが再起動し、あなたはログオフされます。***

- ネットワークの再起動
  ネットワークの再起動を実行します。これにより、どのネットワーク設定も変更されません。
- ネットワークファクトリーリセット
  ネットワークファクトリーリセットを実行します。ネットワーク設定は次のデフォルト値にリセットされます。
  - プロジェクター名称 = Christie@ + シリアル番号
  - ネットワークメッセージを表示 = オン
  - LAN 設定 :
    - 手動
    - IP アドレス = 192.168.0.100
    - サブネットマスク = 255.255.255.0
    - デフォルトゲートウェイ = 192.168.0.100
  - WLAN 設定 :
    - 有効にする
    - 開始 IP = 192.168.1.100
    - 最終 IP = 192.168.1.120
    - サブネットマスク = 255.255.255.0
    - デフォルトゲートウェイ = 192.168.1.100
  - SNMP 設定 :
    - SNMP コミュニティの読取 = プライベート
    - 捕獲 IP アドレス = 0.0.0.0
    - SMTP IP アドレス = 0.0.0.0
    - 他の設定はすべて消去 / 削除されます
  - 捕獲構成 :
    - すべてのアイテム = SNMP 捕獲 + 電子メール
- LAN 設定パネル
  - プロジェクターが DHCP を通して自動的に割り当てられた IP アドレスを取得するか、ユーザーが手動でアドレスを設定するかを選択します。
  - TCP/IP 設定の IP アドレス、ネットマスク、デフォルトのゲートウェイアドレスを入力します。
- WLAN 設定パネル
  - プロジェクターのワイヤレス LAN を有効 / 無効のいずれかにするかを選択します。

- ワイヤレス LAN の IP アドレス範囲、ネットワークおよびデフォルトゲートウェイを入力します。

- SNMP パネル
  - SNMP（易ネットワーク管理プロトコル）インターフェースはネットワーク管理者に、簡易リモート場所からそのネットワークデバイスを管理するための一般的な方法を提供します。SNMP により、管理者は現在のステータス / 構成を見るためにデバイスの数の問い合わせを行うことができます。これにより、オペレータは構成値を変更し、特定のイベントが発生したときに捕獲通知を送信するように構成することもできます。(例として、信号の損失、電力状態変更等)
    - 電子メールはプロジェクター設定で構成されたメールサーバーに送信されます。最大 2 つのユーザーメールアカウントを選択できます。イベントに関連する重要な情報は、電子メールの本部に置かれます。
    - SNMP 捕獲は、プロジェクターから送信される通知です。コンピュータの捕獲受信機（MIB ブラウザ）によってのみ受信されます。
  - SNMP コミュニティの読取（デフォルト設定 : プライベート）- これはプレーンテキストのパスワードです。これは、MIB ブラウザにも入力する必要があります。このパスワードにより、プロジェクターのさまざまな設定を問い合わせることができます。
  - SNMP 位置 （デフォルト設定 : ブランク）– このフィールドは、プロジェクターが建物内部に置かれている場合の説明として使用できます。送信される SNMP 電子メールはこの場所を指定します。
  - 捕獲 IP アドレス（デフォルト設定 :0.0.0.0）– このフィールドにはプロジェクターからの捕獲の受信を入力する必要があります。IP アドレスの捕獲には、受信した捕獲を表示するコンピュータの IP アドレスを入力する必要があります。
  - 捕獲電子メール 1/2（デフォルト設定 : ブランク）– 捕獲電子メール 1 と 2 は「SMTP サーバー IP アドレス」フィールドに入力するメールサーバーの下で構成された電子メールアドレスに設定する必要があります。
  - アドレスから電子メール（デフォルト設定 : ブランク）– SNMP 電子メールのソースとして表示される「アドレスから電子メール」。
  - SMTP サーバー IP アドレス（フォルト設定 :0.0.0.0）– メールサーバーの IP アドレスを入力します。
- 捕獲構成パネル
  システムイベントの SNMP アクションを設定します。オプション :SNMP 捕獲 + 電子メール、電子メール、SNMP 捕獲、無効。
- Crestron コントロールシステムパネル
  Crestron デバイスの接続用 IP アドレス、IP ID、ポートを入力します。

4.9.6　ツール

ツールタブ付きページを使用して「サイズと位置」、「画像設定」、「構成」、「ランプ」、「入力切り替えと PIP」、「テストパターン」を制御します。

4.9.7　管理者ページ

ユーザーを追加または削除したり、パスワードを変更します。

4.9.8　バージョン情報ページ

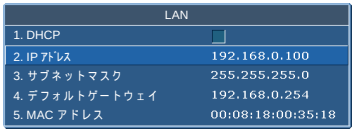
- バージョンタブ
  メインのファームウェアバージョン、ネットワークファームウェアバージョン、プロジェクターモデル名、プロジェクターシリアル番号を表示します。
- ライセンスタブ
  コンピュータプログラムのライセンス情報が表示されます。

4.10 Christie Presenter

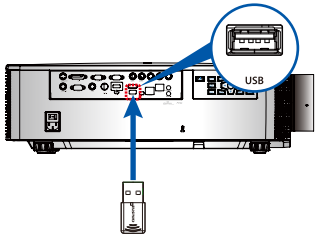
Christie Presenter アプリケーションにより、ホスト PC からのリモートデスクトップをイーサネット、USB、またはワイヤレストランスポートを通してネットワークディスプレイに表示することができます。さまざまなネットワーク設定（DHCP、固定 IP、USB/ イーサネットケーブルによる直接リンク）に適合させることができます。
Christie Presenter は Christie Web サイトから、またはプロジェクターの Web ページからダウンロードできます。

4.10.1 プロジェクターに接続する

1. WiFi またはイーサネットを使用してプロジェクターに接続する
   - イーサネット接続 :
     - メニューﾒｲﾝﾒﾆｭｰ > 構成 > 通信 > LAN からプロジェクターの IP アドレスを決定します。



     - プロジェクターと同じネットワークになるように PC の IP アドレスを構成します。
     - プロジェクターとコンピュータは直接、またはイーサネットを使ってネットワーク上で接続する必要があります。
   - WiFi ワイヤレス接続 :
     - WiFi USB ドングル (1DWUSB-BGN) をプロジェクター入力パネルの USB ポートに挿入します。



WiFiUSB ドングルの挿入

- プロジェクターの電源を入れます。
- OSDメニューﾒｲﾝﾒﾆｭｰ > 構成 > 通信 > WLANからWiFi SSIDを取得します。
- PCデバイスを選択したプロジェクターのワイヤレスSSIDに接続します。例：「Christie@0111000123」。

4.10.2 Christie Presenter ソフトウェアのインストール

1. Web ブラウザを使用してプロジェクターのネットワークアドレスに接続します（デフォルトのアドレス：192.168.1.100）。
2. Christie Presenter ソフトウェアのダウンロードとインストール

3. Christie Presenter ソフトウェアを構成します。入力した名前は、有線またはワイヤレス接続で、Christie Presenter ソフトウェアによりプロジェクターに接続されたすべてのコンピュータの識別に使用されます。ネットワークディスプレイ管理 -> デバイス管理タブは現在のすべての接続を表示します。

4.10.3 Christie Presenter の使用

1. システムトレイの自動実行アイコンを押して、USB ディスプレイを一時停止または再生します。

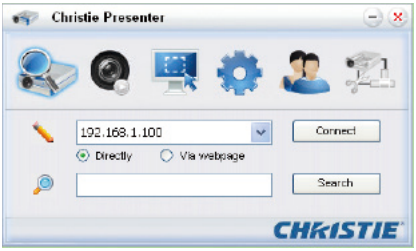
2. Christie Presenter アプリケーションを起動すると、メインのウィンドウを見ることができます（以下に表示）。

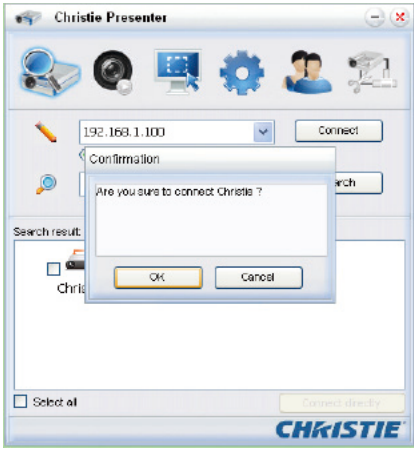
アイコン	説明
	ネットワークディスプレイを接続し検索します。
	ネットワークディスプレイに接続するために、デスクトップのコンテンツの表示を停止 / 開始します。
	表示領域の選択。
	Christie Presenter を較正する。
	接続されたすべてのネットワークディスプレイの管理。
	すべての接続を取り外します。

ネットワークディスプレイを接続し検索します

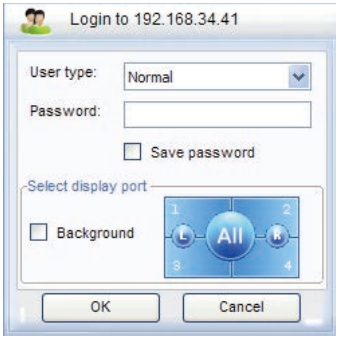
1　ボタン をクリックして接続メニューセクションに入力します。

2 プロジェクターの IP アドレスが分かっている場合、IP アドレスを入力し「Connect (接続)」ボタンをクリックします。IP アドレスが不明の場合、「Search（検索）」ボタンをクリックしてネットワーク上のプロジェクターを検索し、接続するプロジェクターを選択します。ログインインターフェースに進むには、オプション「Directly（直接に）」を選択します。



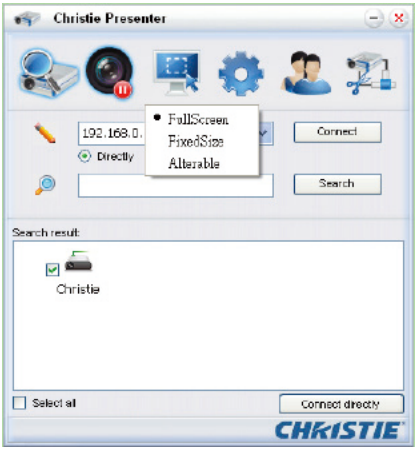


3 ログインインターフェースに「ユーザータイプ」と「パスワード」を入力します。ディスプレイポートを選択します（デフォルトは全画面です）。OSD メニューﾒｲﾝﾒﾆｭｰ > 構成 > 通信 > WLAN から、「ノーマル」ユーザーのパスワードを取得します。



表示領域の選択

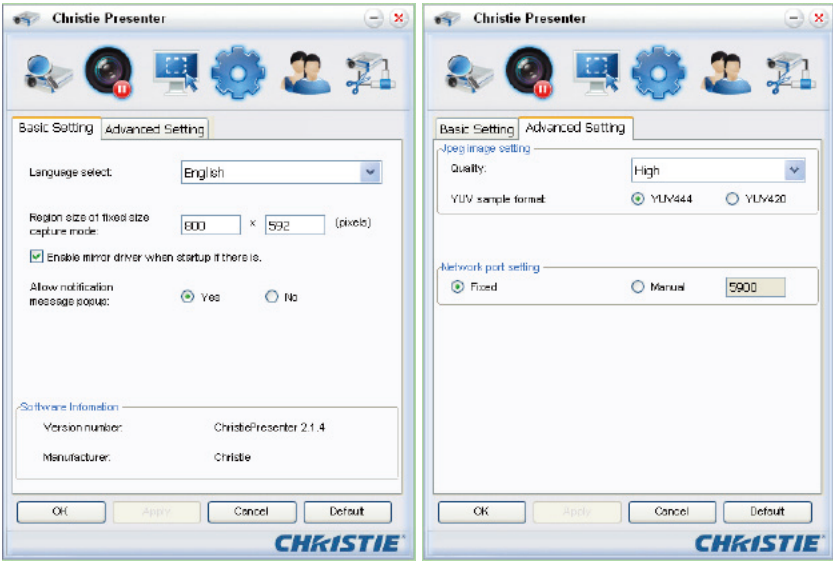
接続がセットアップされたら、 ボタンをクリックして投影領域のサイズを選択します。FullScreen（全画面）、FixedSize（固定サイズ）、Alterable（可変）。



- FullScreen（全画面）: デフォルトのキャプチャモードは、プログラムを起動するときに全画面に変わります。そのとき、画面キャプチャが開始すると、全画面の画像はリモートのネットワークディスプレイに転送されます。
- FixedSize（固定サイズ）: ユーザーは、フレームをデスクトップ上に置くことができます。フレーム内に含まれている画像のみを転送してリモートネットワークで表示できます。
- Alterable（可変）: キャプチャした地域のみ、フレームで囲まれます。領域はフレームの 8 つの端にちりばめられた 8 つの小さな黒い四角をドラッグすることで拡大または縮小することができます。

Christie Presenter を較正する

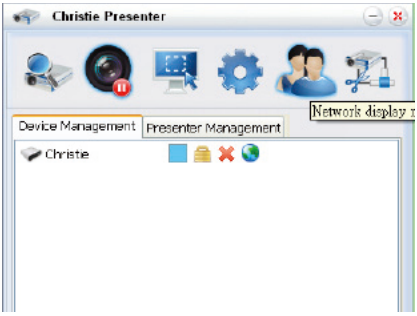
ボタン をクリックして、Christie Presenter の Basic Setting（基本設定）と Advanced Setting（高度設定）を構成します。



- Basic Setting（基本設定）: 言語を選択し、固定されたサイズキャプチャモードの地域サイズを変更し、通知メッセージのポップアップが許可されたら選択します。
- Advanced Setting（高度設定）:JPEG 画像の品質、YUV サンプル形式、およびネットワークポート設定を選択できます。(「Fixed（固定）」ポートは 5900 です)

接続されたすべてのネットワークディスプレイの管理

ボタンをクリックして、すべてのユーザーと同じプロジェクターへのすべてのプロジェクター端子を制御します。



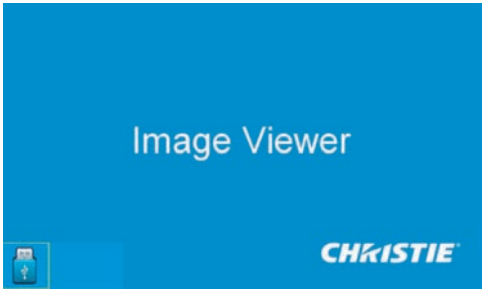
アイコン	説明
	管理者ログイン。
	通常ユーザーログイン。
	デバイスが接続されています。
	デバイスが接続されていません。
	アイコンは現在のステータスと、ネットワークディスプレイのローカル画面の表示位置を示しています。表示位置を変更するにはアイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。
	パスワードを変更するにはこのロック解除アイコンをクリックします。(パスワードはターゲットのネットワークディスプレイに変わります。管理者ユーザーのみがパスワードを変更できます。)
	このアイコンをクリックしても応答はありません。ユーザーが「管理者」としてログインしている場合、鍵のアイコンが表示され Presenter のパスワードを変更することができます。ユーザーが「標準」としてログインしている場合、ロックアイコンが表示され Presenter のパスワードを変更することはできません。
	ターゲットのネットワークディスプレイから取り外します。
	Web ページ経由で、ターゲットのネットワークディスプレイに接続するためのリンク。

4.11 カードリーダーの操作

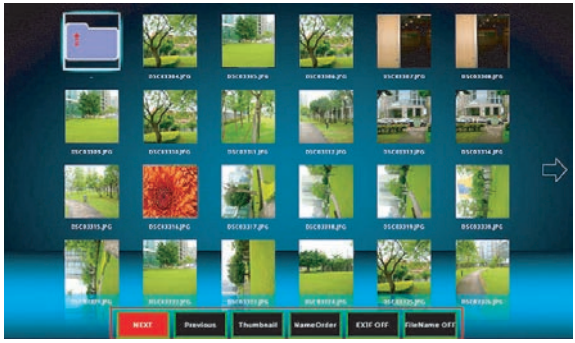
カードリーダーアプリケーションには、次の 4 つの操作モードがあります。

- USB フラッシュデバイス検出画面
- サムネイルディスプレイモード
- 画像ディスプレイモード
- 画像スライドショーモード

1. USB フラッシュデバイス検出画面 :
   このモードでは、カードリーダーのアプリケーションは USB フラッシュデバイスのホットプラグイベントを検出しフラッシュデバイスのアイコンを表示します。フラッシュデバイスが USB から取り外されると、アイコンは消えます。カードリーダーが USB フラッシュデバイス検出画面状態に変わったときのみ、USB フラッシュデバイスを取り外すようにお勧めします。



2. サムネイルディスプレイモード :
   Enter キーを押してサムネイルディスプレイモードに入ります。異なるフォルダの異なる写真を選択できます。Menu キーを押してカードリーダー の操作 UI を表示します。



ユーザーインターフェースは、いくつかのキー（Enter/ 左 / 右 / 上 / 下）でカードリーダーのアプリケーションを操作するように設計されています。
次のボタンがユーザーインターフェースでサポートされています。

- Previous（前へ）: 選択した項目を左に移動します。（このボタンが左端にあるときは前のページに移動します）
- Next（次へ）: 選択した項目を右に移動します。（このボタンが右端にあるときは次のページに移動します）
- Display（ディスプレイ）: 選択した画像または選択したフォルダを表示します。
- Thumbnail（サムネイル）: サムネイルディスプレイモードに入ります。
- SlideShow（スライドショー）: スライドショーモードに入ります。
- NameOrder（名前順）: 名前順でファイル / フォルダをソートします。
- ExtendOrder（拡張順）: 拡張順でファイル / フォルダをソートします。
- SizeOrder（サイズ順）: サイズ順でファイル / フォルダをソートします。
- TimeOrder（時間順）: 時間順でファイル / フォルダをソートします。
- EXIF ON/OFF（EXIF オン / オフ）:EXIF 情報に従って、画像の自動回転の有効 / 無効を切り換えます。
- FileName ON/OFF（ファイル名オン / オフ）: サムネイルディスプレイモードでファイル名表示の有効 / 無効を切り換えます。

3. 画像ディスプレイモード:

   サムネイルディスプレイモードで ENTER キーを押すと画像ディスプレイモードに入ります。SlideShow（スライドショー）を押すとスライドショーモードに入ります。左 / 右キーは、画像ディスプレイモードで最後の / 次の画像を表示するために使用されます。画像ディスプレイモードで、ENTER キーを押すと画像ディスプレイモードを終了し、サムネイルディスプレイモードに入ります。
   スライドショーモードで、ENTER キーを押すと画像ディスプレイモードに入ります。

他にも操作 UI を使用して、画像ディスプレイモードまたはスライドショーモードで画像を表示する方法もあります。

次の操作が、操作 UI でサポートされます。

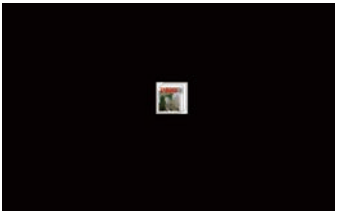
- Display（ディスプレイ）: 画像ディスプレイモードに入ります。
- Thumbnail（サムネイル）: サムネイルディスプレイモードに入ります。
- SlideShow（スライドショー）: スライドショーモードに入ります。
- Actual Size（実際のサイズ）: 画像の実際のサイズを表示します。
- Best Fit（ベストフィット）: 画面にぴったりフィットするように画像を表示します。
- EXIFDisp OFF/On（EXIFDisp オフ / オン）:EXIF 情報ディスプレイの有効 / 無効を切り換えます。
- +90deg（+90 度）:90 度回転します。
- -90deg（-90 度）:-90 度回転します。

4. 画像スライドショーモード:

   次の操作が、スライドショーモードの操作 UI でサポートされます。

   - Stop（停止）: 画像スライドショーモードを停止します。
   - Next（次へ）: 次の画像を表示します。
   - Previous（前へ）: 前の画像を表示します。
   - Delay 3/4/5（遅延 3/4/5）: スライドショーの遅延（秒）。
   - Slide Effect（スライド効果）: 次のモードがサポートされます。
     - Slide Right（右にスライド）
     - Blocks（ブロック）
     - RightDown（右下）
     - XLines（X ライン）
     - Slide Up（上にスライド）
     - Ylines（Y ライン）
     - Repeat ON/OFF（オン / オフの繰り返し）: スライドショーの繰り返しモードの有効 / 無効を切り換えます。

メモリ制限により画像を表示できない場合、または画像形式をサポートできない場合、画面の中央に特定の画像が表示されます。



5. 故障かなと思ったら

このセクションで提供された情報を使用して問題を解決できない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

問題	解決策
- スクリーンに何も画像が表示されない	- すべてのケーブルと電源接続が正しいこと、またしっかり接続されていることを確認します。「本体の設置」を参照してください。 - ランプステータス LED が緑になっていることを確認します。 - レンズキャップが付いていないか、また、プロジェクターの電源が入っているか確認してください。
• 画像が部分的にしか表示されない、スクロールするまたは正しく表示されない	- コントロールパネルまたはリモコンの「AUTO」ボタンを押してください。 - コンピュータを使用している場合（Windows 95、98、2000、XP、Windows 7 の場合）： 1. 「マイ コンピューター」>「コントロール パネル」の順に選択して、「画面」をダブルクリックします。 2. 「設定」タブを選択します。 3. 画面の解像度設定が WUXGA (1920 x 1200) 以下であることを確認します。 4. 「詳細プロパティ」ボタンをクリックします。それでもプロジェクターが画面全体を投影できない場合、モニタのディスプレイを変更してください。 4.1 画面の解像度設定が WUXGA (1920 x 1200) 以下であることを確認します。 4.2「モニタ」タブの「変更」ボタンを選択します。 4.3「すべてのデバイスを表示」をクリックします。次に、SP ボックスで「標準モニタの種類」を選択し、「モデル」ボックスで必要な解像度モードを選択します。 4.4 モニタディスプレーの解像度設定が WUXGA (1920 x 1200) 以下であることを確認します。

<table>
<tr><th>問題</th><th>解決策</th></tr>
<tr><td>- 画像が部分的にしか表示されない、スクロールするまたは正しく表示されない</td><td>- ノートパソコン使用時 :
1. コンピュータの解像度を調整します。
2. 以下に示すノートパソコン各メーカー向けのショートカットキー組み合わせを使用して、ノートパソコンからプロジェクターに信号を送ります。例 :[Fn]+[F4]
<table><tr><th>ノートブックメーカー</th><th>機能キー</th></tr><tr><td>Acer</td><td>[Fn]+[F5]</td></tr><tr><td>Asus</td><td>[Fn]+[F8]</td></tr><tr><td>Dell</td><td>[Fn]+[F8]</td></tr><tr><td>Gateway</td><td>[Fn]+[F4]</td></tr><tr><td>IBM/Lenovo</td><td>[Fn]+[F7]</td></tr><tr><td>HP/Compaq</td><td>[Fn]+[F4]</td></tr><tr><td>NEC</td><td>[Fn]+[F3]</td></tr><tr><td>東芝</td><td>[Fn]+[F5]</td></tr><tr><td>Mac Apple</td><td>システム設定 ⇨ ディスプレイ ⇨ 調整 ⇨ ミラーディスプレイ</td></tr></table>- 解像度を変更できない場合やモニタがフリーズした場合は、プロジェクターを含むすべての機器を再起動してください。</td></tr>
<tr><td>• ノートパソコンの画面に、投写映像が表示されない</td><td>- ノートパソコン使用時 :
ノートパソコンの機種によっては、第二ディスプレー機器使用中は、スクリーンが自動的に無効となります。本体画面を有効に戻す方法は機種によって異なります。詳細につきましては、お使いのコンピュータの取扱説明書をご参照ください。</td></tr>
<tr><td>• 画像が乱れる、またはちらつく</td><td>- 「ﾋﾟｸｾﾙﾄﾗｯｸ」と「ﾋﾟｸｾﾙﾌｪｰｽﾞ」を使って修正してください。
- コンピュータのモニタのカラー設定を変更してください。</td></tr>
<tr><td>• 映像に縦の縞模様が出る</td><td>- 「自動画像」を調整してください。
- グラフィックカードのディスプレイモードがプロジェクターと一致しているか確認し、一致していない場合は再設定してください。</td></tr>
</table>

問題	解決策
• 画像のピントが合っていない	- 両方のレンズキャップ（前面と背面）が取り外されていることを確認します。 - レンズフォーカスが合うように調整してください。 - スクリーンが適切な距離に置かれていることを確認してください。
• 16:9 DVD を再生表示しているとき、映像が伸びる	- アナモフィック DVD または 16:9 DVD を再生しているとき、OSD でプロジェクターの表示モードを 16:9 に設定すると、プロジェクターは最適な画面を表示します。 - 4:3 フォーマット DVD タイトルを再生している場合、プロジェクター OSD でフォーマットを 4:3 に変更してください。 - それでも画像が伸びてしまう場合は、ディスプレイフォーマットを 16:9（ワイド）に設定し、DVD プレーヤーのアスペクト比を調整しなければなりません。
• 画像が小さすぎるまたは大きすぎる	- レンズズームを調整してください。 - 適切に画像の大きさを調整できない場合は、正しいレンズが使われているかどうか確認し、またプロジェクターの位置を変えてください。

6. 仕様

6.1 入力

信号タイプ	解像度	フレームレート（Hz）	VGA	BNC	HDMI ½	DVI	Display Port	3G-SDI	HDBaseT	CVBS
PC	640x350	85			•	•	•		•	
	640x400	85	•	•	•	•	•		•	
	640x480	59			•	•	•		•	
	640x480	60	•	•	•	•	•		•	
	640x480	72	•	•	•	•	•		•	
	640x480	75	•	•	•	•	•		•	
	640x480	85	•	•	•	•	•		•	
	720x400	60	•	•	•	•	•		•	
	720x400	85	•	•						
	768x480	60			•	•	•		•	
	768x480	75			•	•	•		•	
	768x480	85			•	•	•		•	
	800x600	50			•	•	•		•	
	800x600	56	•	•	•	•	•		•	
	800x600	60	•	•	•	•	•		•	
	800x600	72	•	•	•	•	•		•	
	800x600	75	•	•	•	•	•		•	
	800x600	85	•	•	•	•	•		•	
	800x600	120			•	•			•	
	848x480	50			•	•	•		•	
	848x480	60			•	•	•		•	
	848x480	75			•	•	•		•	
	848x480	85			•	•	•		•	
	960x600	50			•	•	•		•	
	960x600	60			•	•	•		•	
	960x600	75			•	•	•		•	•

注意：

❖ ***「RB」は「レデュースドブランキング」を意味します。***

信号タイプ	解像度	フレームレート（Hz）	VGA	BNC	HDMI ½	DVI	Display Port	3G-SDI	HDBaseT	CVBS
PC	960x600	85			•	•	•		•	•
	1024x768	60	•	•	•	•	•		•	
	1024x768	75	•	•	•	•	•		•	
	1024x768	85	•	•	•	•	•		•	
	1024x768	120	•		•	•			•	
	1064x600	50			•	•	•		•	
	1064x600	60			•	•	•		•	
	1064x600	75			•	•	•		•	
	1064x600	85			•	•	•		•	
	1152x720	50			•	•	•		•	
	1152x720	60			•	•	•		•	
	1152x720	75			•	•	•		•	
	1152x720	85			•	•	•		•	
	1152x864	60	•	•	•	•	•		•	
	1152x864	70	•	•	•	•	•		•	
	1152x864	75	•	•	•	•	•		•	
	1152x864	85	•	•	•	•	•		•	
	1224x768	50			•	•	•		•	
	1224x768	60			•	•	•		•	
	1224x768	85			•	•	•		•	
	1280x720	50			•	•	•		•	
	1280x720	60	•	•	•	•	•		•	
	1280x720	75	•	•	•	•	•		•	
	1280x720	85	•	•	•	•	•		•	
	1280x720	120	•		•	•			•	
	1280x768	60	•	•	•	•	•		•	
	1280x768	75	•	•	•	•	•		•	

信号タイプ	解像度	フレームレート（Hz）	VGA	BNC	HDMI ½	DVI	Display Port	3G-SDI	HDBaseT	CVBS
PC	1280x768	85	•	•	•	•	•		•	
	1280x800	50	•	•	•	•	•		•	
	1280x800	60	•	•	•	•	•		•	
	1280x800	75	•	•	•	•	•		•	
	1280x800	85	•	•	•	•	•		•	
	1280x960	50			•	•	•		•	
	1280x960	60	•	•	•	•	•		•	
	1280x960	75	•	•	•	•	•		•	
	1280x960	85	•	•	•	•	•		•	
	1280x1024	50			•	•	•		•	
	1280x1024	60	•	•	•	•	•		•	
	1280x1024	75	•	•	•	•	•		•	
	1280x1024	85	•	•	•	•	•		•	
	1356x960	50				•				
	1356x960	60				•				
	1356x960	75				•				
	1356x960	85				•				
	1360x768	50			•	•	•		•	
	1360x768	60			•	•	•		•	
	1360x768	75			•	•	•		•	
	1360x768	85			•	•	•		•	
	1366x768	60	•	•	•	•	•		•	
	1400x900	60	•	•		•				
	1400x1050	50			•	•	•		•	
	1400x1050	60	•	•	•	•	•		•	
	1400x1050	75	•	•	•	•	•		•	
	1440x900	60	•	•	•	•	•		•	
	1440x900	75			•	•	•		•	

信号タイプ	解像度	フレームレート（Hz）	VGA	BNC	HDMI ½	DVI	Display Port	3G-SDI	HDBaseT	CVBS
PC	1600x900	60			•	•	•		•	
	1600x1200	50			•	•	•		•	
	1600x1200	60	•	•	•	•	•		•	
	1680x1050	50			•	•	•		•	
	1680x1050	60	•	•	•	•	•		•	
	1680x1050	75				•				
	1704x960	50			•	•	•		•	
	1704x960	60			•	•	•		•	
	1704x960	75				•				
	1704x960	85				•				
	1728x1080	50			•	•	•		•	
	1728x1080	60			•	•	•		•	
	1864x1050	50			•	•	•		•	
	1864x1050	60			•	•	•		•	
	1864x1050	75				•				
	1920X1080	50			•	•	•		•	
	1920X1080	60	•	•	•	•	•		•	
	1920X1200RB	60	•	•	•	•	•		•	
	1920X1200RB	50	•	•	•	•	•		•	
	2128x1200	60				•				
NTSC	NTSC (M, 4.43)	60								•
PAL	PAL (B,G,H,I)	50								•
	PAL (N)	50								•
	PAL (M)	60								•
SECAM	SECAM (M)	50								•
	480i	60	•	•	•	•	•		•	
	576i	50	•	•	•	•	•		•	
EDTV	480p	60	•	•	•	•	•		•	
	576p	50	•	•	•	•	•		•	

信号タイプ	解像度	フレームレート（Hz）	VGA	BNC	HDMI ½	DVI	Display Port	3G-SDI	HDBaseT	CVBS
HDTV	1080i	25	•	•	•	•			•	
	1080i	29	•	•	•	•	•		•	
	1080i	30	•	•	•	•	•		•	
	720p	50	•	•	•	•	•		•	
	720p	59	•	•	•	•	•		•	
	720p	60	•	•	•	•	•		•	
	1080s	23				•				
	1080s	24				•				
	1080p	23	•	•	•	•	•		•	
	1080p	24	•	•	•	•	•		•	
	1080p	25	•	•	•	•	•		•	
	1080p	29	•	•	•	•	•		•	
	1080p	30	•	•	•	•	•		•	
	1080p	50	•	•	•	•	•		•	
	1080p	59	•	•	•	•	•		•	
	1080p	60	•	•	•	•	•		•	
強制 3D	フレームパッキング 1080p	24			•				•	
	フレームパッキング 720p	50			•				•	
	フレームパッキング 720p	60			•				•	
	サイドバイサイド 1080i	50			•				•	
	サイドバイサイド 1080i	60			•				•	
	トップアンドボトム 720p	50			•				•	
	トップアンドボトム 720p	60			•				•	
	トップアンドボトム 1080p	24			•				•	

信号タイプ	解像度	フレームレート（Hz）	VGA	BNC	HDMI ½	DVI	Display Port	3G-SDI	HDBaseT	CVBS
フレームシーケンシャル 3D	800x600	120			•				•	
	1024x768	120			•				•	
	1280x720	120			•				•	
SD-SDI	480i YcbCr422 10 ビット	59.94						•		
	576i YcbCr422 10 ビット	50						•		
HD-SDI	720p YcbCr422 10 ビット	50						•		
		59.94						•		
		60						•		
	1080i YcbCr422 10 ビット	50						•		
		59.94						•		
		60						•		
	1080p YcbCr422 10 ビット	23.98						•		
		24						•		
		25						•		
		29.97						•		
		30						•		
	1080sF YcbCr422 10 ビット	25						•		
		29.97						•		
		30						•		
3GA-SDI	1080p YcbCr422 10 ビット	50						•		
		59.94						•		
		60						•		
3GB-SDI	1080p YcbCr422 10 ビット 352M ペイロード ID 付き	50						•		
		59.94						•		
		60						•		

6.2 PIP/POP 互換性

PIP/POP マトリックス	3G-SDI	VGA	BNC	DVI	CVBS	Display Port	HDMI1	HDMI2	HDBaseT RJ45-1	USB A	ミニ USB	RJ45-2
3G-SDI	-	-	-	-	●	●	●	●	●	●	●	●
VGA	-	-	-	-	●	●	●	●	●	●	●	●
BNC	-	-	-	-	●	●	●	●	●	●	●	●
DVI	-	-	-	-	●	●	●	●	●	●	●	●
CVBS	●	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	
Display Port	●	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	
HDMI1	●	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	
HDMI2	●	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	
HDBaseT RJ45-1	●	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	
USB A	●	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	
ミニ USB	●	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	
RJ45-2	●	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	

● : PIP/POP の組み合わせ有効
- : PIP/POP の組み合わせ無効

6.3 主な機能

- HD 0.95" 1920 × 1080 解像度または WUXGA 0.96" 1920 × 1200 解像度
- プロジェクションレンズの互換性 :
  - 水平オフセット範囲 :+/-50%
  - 垂直オフセット範囲 :+/-120% (WUXGA) および +/-140% (HD)

  注意 :

  ❖ ***測定は業界標準に基づいており、オフセットは画像サイズの半分まで上下にシフトする画素数の比率として計算されます。***
  - 360 度の方向
  - 豊かな色彩性能のためのオプションのカラーホイール
  - さまざまなアプリケーションのための 3D 混合およびオートワープ
  - プロジェクターがより良い製品寿命を維持できるようにほこり / 煙フィルタをサポートしています。

  注意 :

  ❖ ***ほこりフィルタは標準アクセサリです。***
  煙フィルタはオプション部品です。
- ワイヤレスドングルを使用したワイヤレスデスクトップディスプレイ（オプション）
- SNMP 捕獲と電子メール通知
- モジュラー設計の 10 ビット画像処理電子
- すべてのビデオ形式を、アスペクト比を維持したまま水平または垂直方向で全画面にリサイズ可能
- プロジェクターは次のいずれかを使用して操作できます :
  - 内蔵キーパッド、赤外線 (IR) リモコン、有線リモコン、シリアル通信を使用する PC/ デバイス（イーサネットまたは RS232）
  - イーサネット経由の Web ページ、またはワイヤレス USB ドングル経由の PC/ デバイスから。（オプション）
- 内蔵キーパッド

6.4 パッケージ内容

本パッケージには、プロジェクター本体および以下の付属品が含まれます。パッケージの内容がすべて揃っていることをご確認ください。万一不足品がございましたら、お手数ですが販売店までご連絡ください。

- IR リモコン 003-004468-01
- 電源コード x 4
  - 英国 / 韓国 / ロシア
  - 北米
  - ヨーロッパ
  - 日本
- ユーザーマニュアル（CD）
- ヒューズ（プロジェクターには 15A ヒューズが取り付けられています）
- ほこりフィルタ x 3（これは、深刻なほこりの環境で適用されます。）

注意:

❖ ***付属品はお住まいの国や地域によって異なる場合があります。***

6.5 オプションのアクセサリ

- 標準レンズ (A21-TR 1.5-2.0) (140-110103-01)
- オプションレンズ (A20-TR 1.2-1.5) (140-109101-01)
- オプションレンズ (A22-TR 2.0-4.0) (140-111104-01)
- オプションレンズ (A18-TR 0.84-1.02) (140-114107-01)
- オプションレンズ (A19-TR 1.02-1.36) (140-115108-01)
- 1DWUSB-BGN/ ワイヤレスドングル（オプションのアクセサリ）(133-113106-01)
- レンズアダプタ (140-112105-01)
- オプションカラーホイール

6.6 規定

- 安全にお使いいただくために
  - CSA C22.2 No. 60950-1
  - UL 60950-1
  - IEC 60950-1
  - EN 60950-1
- 電磁両立生

  放出
  - FCC CFR47、パート 15、サブパート B/ANSI C63.4、クラス A - 意図的でないラジエータ
  - CISPR 22/EN55022 クラス A - 情報処理機器
  - ICES/NMB003 (A) - 情報処理機器

  電磁波耐性
  - CISPR 24/EN55024 EMC 要件 - 情報処理機器
- 環境
- 製品は以下に準拠します。
  - 電気電子機器における特定の危険な危険物質 (RoHS) の使用の制限に関する欧州指令 (2011/65/EU) およびと適用可能な公式改訂。
  - 化学物質 (REACH) の登記、評価、承認、規制に関する欧州規制 (EC) No. 1907/2006 および適用可能な公式改訂。
  - 廃電気電子機器 (WEEE) に関する欧州指令 (2012/19/EU) および適用可能な公式改訂。

- 電子情報製品により引き起こされる汚染の管理に関する中国情報産業省命令 No.39 (02/2006)、危険物質の濃度限度 (SJ/T11363-2006)、および適用可能な製品マーキング要件 (SJ/T11364-2006)。

- マーキング
  - 本製品はすべての関連するカナダ、米国、欧州指令、標準、安全、健康、環境への懸念に準拠しています。国際包装リサイクルマークは以下に準拠しています。
    - ↴ 廃電気電子機器 (WEEE) に関する欧州指令 (2012/19/EU)。
    - ↴ 包装および包装廃棄物に関する欧州指令 (94/62/EC)。
    - ↴ 中国包装リサイクルマーク標準 (GB18455-2001)

6.7 米連邦通信委員会 (FCC) 警告

⚠警告

- FCC の放射限度を満たし、周囲のラジオやテレビ受信との干渉を防ぐため、シールドタイプの電源コードを使用してください。付属の電源コードのみを使用しなければなりません。
- また、I/O デバイスと本装置との接続には、シールド信号ケーブルのみをご利用ください。

6.8 OSD ツリー

レベル 1	レベル 2	レベル 3（またはリスト）	レベル 4（またはリスト）	レベル 5（またはリスト）	レベル 6（またはリスト）	デフォルト
サイズと位置	サイズプリセット	自動				自動
		ネイティブ				
		4:3				
		レターボックス				
		フルサイズ				
		全幅				
		全長				
		カスタム				
		3D モード				
	オーバースキャン	オフ				ソースセットによる
		ズーム				
		トリミング				
	ピクセルトラック	0 - 100				50
	ピクセルフェーズ	0 - 100				50
	水平位置	0 - 100				50
	垂直位置	0 - 100				50
	デジタル水平ズーム	50%~400%				100
	デジタル垂直ズーム	50%~400%				100
	デジタル水平シフト	0 - 100				50
	デジタル垂直シフト	0 - 100				50
	形状補正	PC モード				オン
		ワープ	キーストーン	水平キーストーン	-20 ~ +20	0
				垂直キーストーン	-20 ~ +20	0
			ピンクッション	水平ピンクッション	-50 ~ +50	0
				垂直置きのピンクッション	-50 ~ +50	0
			リセット	コマンド		
	自動画像	コマンド				
画像設定	明るさ	0 - 100				50
	コントラスト	0 - 100				ソースセットによる
	色空間	自動				自動
		RGB	RGB			RGB
			RGB ビデオ			
			REC709			
		YUV	REC709			REC709
			REC601			
	詳細	最大				ソースセットによる
		高さ				
		ノーマル				
		低				
		最小				
	3D 表示	3D 対応	自動			自動
			フレームパッキング横並び			
			最上部と最下部			
			Feame Sequential			
			オフ			
		3D 反転	オフ / オン			オフ
		Toggle 3D Blending	コマンド			

レベル 1	レベル 2	レベル 3（またはリスト）	レベル 4（またはリスト）	レベル 5（またはリスト）	レベル 6（またはリスト）	デフォルト
画像設定	ﾋﾞﾃﾞｵｵﾌﾟｼｮﾝ	色	0 - 100			50
		色合い	0 - 100			50
		ﾉｲｽﾞﾘﾀﾞｸｼｮﾝ	0 - 100			0
		ﾌﾚｯｼｭﾄｰﾝ補正	0 - 100			0
		ﾋﾞﾃﾞｵ黒ﾚﾍﾞﾙ				
		ﾌｨﾙﾑを検知	ｵﾌ / ｵﾝ			ｵﾌ
		ｸﾛｰｽﾞﾄﾞｷｬﾌﾟｼｮﾝ	ｵﾌ			ｵﾌ
			cc1			
			cc2			
	入力ﾚﾍﾞﾙ	赤ｹﾞｲﾝ	0 - 100			50
		緑ｹﾞｲﾝ	0 - 100			50
		青ｹﾞｲﾝ	0 - 100			50
		赤ｵﾌｾｯﾄ	0 - 100			50
		緑ｵﾌｾｯﾄ	0 - 100			50
		青ｵﾌｾｯﾄ	0 - 100			50
		同期いき値	0 - 100			50
		RGB ｹﾞｲﾝ / ｵﾌｾｯﾄをﾘｾｯﾄ	コマンド			
	画像設定	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ				ソースセットによる
		ﾋﾞﾃﾞｵ				
		明るい				
		レアル				
		DICOM SIM				
		2D 高速				
		3D				
		ﾕｰｻﾞｰ				
	ユーザーに保存	コマンド				
	DynamicBlack™	ｵﾌ / ｵﾝ				ｵﾌ
	画像フリーズ	ｵﾌ / ｵﾝ				ｵﾌ
	高度な画像設定	ｶﾞﾝﾏ	ﾋﾞﾃﾞｵ			ソースセットによる
			ﾌｨﾙﾑ			
			明るい			
			CRT			
			DICOM			
		BrilliantColor™	ﾉｰﾏﾙ Look			明るい Look
			明るい Look			
		ﾎﾜｲﾄﾋﾞｰｷﾝｸﾞ	0 - 100			ソースセットによる
		色温度	最も暖かい			ソースセットによる
			暖かい			
			ｸｰﾙ			
			明るい			
		ｴｯｼﾞ強化	ｵﾌ			ｵﾌ
			ﾉｰﾏﾙ			
			最大			
		色相環速度	2X			2X
			3X			
		着色強化	ｵﾌ			CE 1
			CE 1			
			CE 2			

レベル 1	レベル 2	レベル 3（またはリスト）	レベル 4（またはリスト）	レベル 5（またはリスト）	レベル 6（またはリスト）	デフォルト
構成	言語					日本語
	レンズ設定	ﾌｫｰｶｽ	コマンド			
		ｽﾞｰﾑ	コマンド			
		ﾚﾝｽﾞｼﾌﾄ	コマンド			
		レンズメモリ	位置を適用	1 - 5		
			現在の位置を保存	1 - 5		
		全レンズモーターのロック	許可			許可
			ﾛｯｸ済み			
		レンズキャリブレーション	コマンド			
	天井取り付け	オフ / オン / 自動				自動
	ﾘｱﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀ	オフ / オン				オフ
	メニュー設定	メニュー水平オフセット	0 - 100			0
		メニュー垂直オフセット	0 - 100			0
		ﾒｯｾｰｼﾞを表示	オフ / オン			
		ﾒﾆｭｰの透明度	0 - 90			0
		ｽﾌﾟﾗｯｼｭ画面の設定	ﾌｧｸﾄﾘｰのﾛｺﾞ			ﾌｧｸﾄﾘｰのﾛｺﾞ
			青色			
			黒			
			白色			
		PIN 保護	コマンド			
		PIN を変更	コマンド			
	電源管理	ｽﾀﾝﾊﾞｲﾓｰﾄﾞ	0.5W モード			通信ﾓｰﾄﾞ
			通信ﾓｰﾄﾞ			
		AC 電源オン	オフ / オン			オフ
		自動ｼｬｯﾄﾀﾞｳﾝ	ﾈﾊﾞｰ			ﾈﾊﾞｰ
			5 分			
			10 分			
			15 分			
			20 分			
			25 分			
			30 分			
		ｽﾘｰﾌﾟﾀｲﾏ	オフ			オフ
			2 時間			
			4 時間			
			6 時間			
	高高度	オフ / オン				オフ
	通信	LAN	DHCP			設定による
			IP ｱﾄﾞﾚｽ			
			サブネットマスク			
			デフォルトゲートウェイ			
			MAC アドレス			
		WLAN	有効にする			設定による
			開始 IP			
			最終 IP			
			サブネットマスク			
			デフォルトゲートウェイ			
			MAC アドレス			
			SSID			
		ﾈｯﾄﾜｰｸ	プロジェクター名			設定による
			ﾈｯﾄﾜｰｸﾒｯｾｰｼﾞを表示			
			ﾈｯﾄﾜｰｸの再起動 ...			
			ﾈｯﾄﾜｰｸﾌｧｸﾄﾘｰﾘｾｯﾄ ...			

レベル 1	レベル 2	レベル 3（またはリスト）	レベル 4（またはリスト）	レベル 5（またはリスト）	レベル 6（またはリスト）	デフォルト
構成	通信	シリアルポート通信速度	2400			115200
			4800			
			9600			
			14400			
			19200			
			38400			
			57600			
			115200			
			1200			
		ｼﾘｱﾙﾎﾟｰﾄのｴｺｰ	ｵﾌ / ｵﾝ			ｵﾌ
		シリアルポートのパス	RS232			RS232
			HDBaseT			
		プロジェクタアドレス	0 - 9			0
	バックライト設定	キーパッドバックライト	タイムアウト 5 秒			タイムアウト 5 秒
			タイムアウト 10 秒			
			タイムアウト 20 秒			
			タイムアウト 30 秒			
			常にオン			
			常にオフ			
		ステータス LED	常にオン			常にオン
			常にオフ			
			警告 / エラーのみ			
	色合わせ	メーター調整	有効にする	ｵﾝ / ｵﾌ		ｵﾌ
			自動テストパターン	ｵﾝ / ｵﾌ		ｵﾝ
			測定データ	赤の強度	100 - 10000	453
				赤の x	0.300 - 0.700	0.633
				赤の y	0.300 - 0.500	0.356
				緑の強度	100 - 10000	2137
				緑の x	0.300 - 0.400	0.352
				緑の y	0.400 - 0.700	0.572
				青の強度	100 - 10000	239
				青の x	0.100 - 0.300	0.140
				青の y	0.030 - 0.400	0.093
				白の強度	100 - 10000	9219
				白の x	0.200 - 0.400	0.331
				白の y	0.200 - 0.400	0.380
				デフォルトにリセット	はい / いいえ	
			ターゲットデータ	赤のゲイン	0.200 - 1.000	1.000
				赤の x	0.300 - 0.700	0.643
				赤の y	0.300 - 0.500	0.344
				緑のゲイン	0.200 - 1.000	1.000
				緑の x	0.300 - 0.400	0.329
				緑の y	0.400 - 0.700	0.544
				青のゲイン	0.200 - 1.000	1.000
				青の x	0.100 - 0.300	0.141
				青の y	0.030 - 0.400	0.094
				白のゲイン	0.200 - 1.000	1.000
				白の x	0.200 - 0.400	0.334
				白の y	0.200 - 0.400	0.371
				デフォルトにリセット	はい / いいえ	

レベル 1	レベル 2	レベル 3（またはリスト）	レベル 4（またはリスト）	レベル 5（またはリスト）	レベル 6（またはリスト）	デフォルト
構成	色合わせ	手動調整	有効にする	オン / オフ		オフ
			自動テストパターン	オン / オフ		オン
			赤の赤い部分	0 - 1000		1000
			赤の緑部分	0 - 1000		0
			赤の青い部分	0 - 1000		0
			緑の緑部分	0 - 1000		1000
			緑の赤い部分	0 - 1000		0
			緑の青い部分	0 - 1000		0
			青の青い部分	0 - 1000		1000
			青の赤い部分	0 - 1000		0
			青の緑部分	0 - 1000		0
			白の赤い部分	0 - 1000		1000
			白の緑部分	0 - 1000		1000
			白の青い部分	0 - 1000		1000
			デフォルトにリセット	はい / いいえ		
	ﾎｯﾄｷｰの設定	ﾌﾞﾗﾝｸｽｸﾘｰﾝ				
		ｱｽﾍﾟｸﾄ比				
		ﾌﾘｰｽﾞ画面				
		ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ情報				
		ｵｰﾊﾞｰｽｷｬﾝ				
		ｸﾛｰｽﾞﾄﾞｷｬﾌﾟｼｮﾝ				
	ｻｰﾋﾞｽ	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ情報	ﾓﾃﾞﾙ名			
			ｼﾘｱﾙ番号			
			ﾈｲﾃｨﾌﾞ解像度			
			ﾌｧｰﾑｳｪｱ			
			構成			
			ﾌﾞｰﾄｺｰﾄﾞ			
			ｽﾀﾝﾊﾞｲﾓｰﾄﾞ			
			ﾚﾝｽﾞのロック設定			
			ｶﾗｰﾎｲｰﾙｲﾝﾃﾞｯｸｽ			
		ﾌｧｸﾄﾘｰﾘｾｯﾄ …	ｺﾏﾝﾄﾞ			
		ﾃｽﾄﾊﾟﾀｰﾝ	ｵﾌ			
			ｸﾞﾘｯﾄﾞ			
			白色			
			黒			
			ﾁｪｯｶｰ盤			
			ｶﾗｰﾊﾞｰ			
			赤色			
			緑色			
			青色			
			黄色			
			ﾏｾﾞﾝﾀ			
			ｼｱﾝ			
			照準			
		ｶﾗｰﾎｲｰﾙｲﾝﾃﾞｯｸｽ (2x)				
		ｶﾗｰﾎｲｰﾙｲﾝﾃﾞｯｸｽ (3x)				
		エラーログ	表示ログ			
			クリアログ			
		モード調整				
		DA モード :	DA 補正			
			DA 較正			
			DA チェック			
			常時較正			

レベル 1	レベル 2	レベル 3（またはリスト）	レベル 4（またはリスト）	レベル 5（またはリスト）	レベル 6（またはリスト）	デフォルト
ランプ	ランプ電源	一定パワー / 一定強度 /Eco モード				一定パワー
	一定パワー	0 - 10				10
	一定強度	0 - 10				7
	現在のﾗﾝﾌﾟ	ﾗﾝﾌﾟ 1				両方
		ﾗﾝﾌﾟ 2				
		両方				
	ﾗﾝﾌﾟの自動切替	故障時のみ				故障時のみ
		ﾊﾟﾜｰｱｯﾌﾟで				
		X 時間後				
	ﾗﾝﾌﾟの自動切替時間 (時間)	5 - 3000				100
	ﾗﾝﾌﾟ情報	ﾗﾝﾌﾟ 1 時間				
		ﾗﾝﾌﾟ 2 時間				
		プロジェクターの総時間				
		ﾗﾝﾌﾟ 1 ﾘｾｯﾄ				
		ﾗﾝﾌﾟ 2 ﾘｾｯﾄ				
	ﾗﾝﾌﾟ寿命設定	xxxxx				2000 時間
	ﾗﾝﾌﾟ時間のﾘｾｯﾄ	コマンド				
	光センサー	光センサーの較正	コマンド			
		較正済みですか？	（ディスプレイはい / いいえ）			
ｽﾃｰﾀｽ	ﾓﾃﾞﾙ名					
	ｼﾘｱﾙ番号					
	ﾈｲﾃｨﾌﾞ解像度					
	ﾌｧｰﾑｳｪｱ					Vxx、Ayy、Bzz
	ﾒｲﾝ入力					
	ﾒｲﾝ信号形式					
	ﾒｲﾝﾋﾟｸｾﾙｸﾛｯｸ					
	ﾒｲﾝ同期ﾀｲﾌﾟ					
	ﾒｲﾝ水平ﾘﾌﾚｯｼｭ					
	ﾒｲﾝ垂直ﾘﾌﾚｯｼｭ					
	PIP / PBP 入力					
	PIP/PBP 信号形式					
	PIP/PBP ﾋﾟｸｾﾙｸﾛｯｸ					
	PIP/PBP 同期ﾀｲﾌﾟ					
	PIP/PBP 水平ﾘﾌﾚｯｼｭ					
	PIP/PBP 垂直ﾘﾌﾚｯｼｭ					
	ﾗﾝﾌﾟの電源設定					
	現在のﾗﾝﾌﾟ					
	ﾗﾝﾌﾟ 1 時間					
	ﾗﾝﾌﾟ 2 時間					
	ｽﾀﾝﾊﾞｲﾓｰﾄﾞ					
	ﾚﾝｽﾞのロック設定					
	IP ｱﾄﾞﾚｽ					
	DHCP					
	システム温度					

レベル 1	レベル 2	レベル 3（またはリスト）	レベル 4（またはリスト）	レベル 5（またはリスト）	レベル 6（またはリスト）	デフォルト
入力切り替えと PIP	ﾒｲﾝ入力	SPEC 定義				
	PIP / PBP 入力	SPEC 定義				
	PIP / PBP 有効	ｵﾌ				ｵﾌ
		ｵﾝ				
	ｽﾜｯﾌﾟ					
	ｻｲｽﾞ	（小 / 媒体 / 大）				
	ﾚｲｱｳﾄ	（PBP、メイン左 / PBP、メイン上 / PBP、メイン右 / PBP、メイン下 / PIPー右下 / PIPー左下 / PIPー左上 / PIPー右上）				
	ﾀｲﾐﾝｸﾞ検知	ﾉｰﾏﾙ				強制ワイド
		強制ワイド				
	ｿｰｽ情報	ｱｸﾃｨﾌﾞなｿｰｽ				
		信号形式				
		ｱｽﾍﾟｸﾄ比				
		解像度				
		垂直ﾘﾌﾚｯｼｭ				
		水平ﾘﾌﾚｯｼｭ				
		ﾋﾟｸｾﾙｸﾛｯｸ				
		同期ﾀｲﾌﾟ				
		色空間				
		PIP / PBP	（PIP/PBP がアクティブのとき）			
		<PIP/PBP source lines>	（PIP/PBP がアクティブのとき）			
	入力ｷｰ	ソースの変更				自動ｿｰｽ
		全てのソースをリスト				
		自動ｿｰｽ				
	ｼｸﾞﾅﾙを押すと画面が空白になる	ｵﾌ				ｵﾌ
		ｵﾝ				
言語						日本語
ﾃｽﾄﾊﾟﾀｰﾝ	ｵﾌ					
	ｸﾞﾘｯﾄﾞ					
	白色					
	黒					
	ﾁｪｯｶｰ盤					
	ｶﾗｰﾊﾞｰ					

Corporate offices

USA – Cypress
ph: 714-236-8610

Canada – Kitchener
ph: 519-744-8005

Consultant offices

Italy
ph: +39 (0) 2 9902 1161

Worldwide offices

Australia
ph: +61 (0) 7 3624 4888

Brazil
ph: +55 (11) 2548 4753

China (Beijing)
ph: +86 10 6561 0240

China (Shanghai)
ph: +86 21 6278 7708

Eastern Europe and
Russian Federation
ph: +36 (0) 1 47 48 100

France
ph: +33 (0) 1 41 21 44 04

Germany
ph: +49 2161 664540

India
ph: +91 (080) 6708 9999

Japan
ph: 81-3-3599-7481

Korea (Seoul)
ph: +82 2 702 1601

Republic of South Africa
ph: +27 (0)11 510 0094

Singapore
ph: +65 6877-8737

Spain
ph: + 34 91 633 9990

United Arab Emirates
ph: +971 4 3206688

United Kingdom
ph: +44 118 977 8000

For the most current technical documentation, please visit www.christiedigital.com

CHRISTIE®